

徳島県美術家協会

美術年報

2018



目 次

はじめに	徳島県美術家協会会長 河崎 良行	1
平成 28 年度事業報告		3
平成 29 年度役員名簿		6
平成 29 年度各部役員名簿		7
第 25 回放美展記録		12
第 25 回放美展出品・入選等状況		18
第 25 回放美展公募規定		19
第 72 回徳島県美術展記録		20
第 72 回徳島県美術展出品・入選等状況		28
第 72 回徳島県美術展公募規定		29
徳島県美術展審査員一覧		30
徳島県美術展開催運営要項		34
第 13 回徳島県こども美術展出品・入選等状況		38
平成 29 年各部記録		
・日本画部	部会長 岡 英彦	41
・洋画部	部会長 平木 美鶴	44
・写真部	部会長 上野 照文	52
・彫刻部	部会長 松永 勉	56
・美術工芸部	部会長 松下 慶一	61
・書道部	部会長 荒井 彭仙	65
・デザイン部	部会長 田中 一郎	72
徳島県美術家協会規約		75
後援承認事務取扱規定		76
後援名義使用承認申請書様式		77
平成 29 年度会員名簿		
・日本画部	80	・美術工芸部 89
・洋画部	81	・書道部 90
・写真部	85	・デザイン部 101
・彫刻部	88	

はじめに

徳島県美術家協会会長

河 崎 良 行

昨年は、自国第一主義への流れや、北朝鮮のミサイル・核開発と、相変わらず多くの難題を抱え、日本はこれからどう関わっていくのか、不安な思いで新年を迎えることになった。

さて、昨年的美協の諸行事は会員の方のご尽力により無事終えることができた。

72 回県展（徳島新聞と共催）も例年通り県外作家に審査を依頼し、各部門ともかなりの好評を得た。その内容については作品集に記載されているが、その中で県議会議長賞の東光司さんの「刻まれた風景 2017」は、「石の存在感が際立つ」との講評で、彫刻の 9 割は素材で決まるとの見解が示された。また、徳島新聞社賞の沢口功さんの「Face」は、「ポスターの王道をいく作品であり、時代を超えた良さがある」との講評が印象的であった。県展の入選作品は、年々充実しレベルアップしていると実感しているが、その反面出品点数が減少傾向にあるのが気がかりである。それは人口減少の影響であると言われている。政府も地方創成を掲げて、人口減少対策や一極集中是正に取り組んでいるが、その効果はまだ見えない。

昨年、香川県では「アートの力で地域の魅力を高める」振興計画の素案を発表している。このように地方から風土と共にその特色を生かした独自の企画とか「人づくり」の具体的なプログラムを持つ必要があるのではないだろうか。

第 25 回記念放美展（四国放送と共催）は、5 月に総数 542 点があわぎんホールに展示され、充実した記念展となった。中でも、放美賞の佐竹英花さんの洋画「離れきった愛」や原田明實さんの美術工芸「Spring」など秀作が見られた。書道及びデザイン部門では高校生の出品が多く、新人の発掘や育成を趣旨とした放美展としては、今後が期待できる。

第 13 回こども県展（徳島新聞社と共催）は、10 月に多くの応募作品の中から厳選された入選以上の秀作があわぎんホールで展示された。このように小・中学生の作品が一堂に並び鑑賞できる機会は極めて少なく、家族連れの来館者などで賑わいのある展覧会となった。絵画で知事賞を受けた巴優菜さん（13）の「ヒマワリ」は、あざやかな色彩と力強い描写で注目を集めた。また同じ賞を受けた鎌倉芽生さん（9）の書も「子供らしさと格調が高い」と講評された素晴らしい作品であった。

その後、巡回展が阿南市羽ノ浦町の市情報文化センターと美馬市脇町のうだつアリーナで開催された。

昨年県内で開催された美術展をいくつか取り上げたい。3月には、日本美術家連盟・四国地区会員展が5年ぶりに徳島で開催され、当美協からは、黒崎志郎さん、松永勉さん、長尾弘久さんなどベテランの参加があり盛会であった。こうした企画により四国4県の連携が深まり、各地区の美術文化活動への刺激になれば幸いである。10月には、阿波和紙伝統産業会館が公募した「アワガミ国際ミニプリント展 2017」が吉野川市で開催された。平木美鶴さんが審査員として参加している版画展で、海外56ヶ国からの出品作品に接する貴重な機会となった。また10月には、第1回現代アート公募の「AWA 現代アート展 2017」が阿波市で開催された。近年各地で国際的な美術展が相次いでいるが、従来の地方自治体主導から民間組織が中心になるケースが多くなっている。この企画展の主催は民間の「AWA アートプロジェクト」である。次回からは全国公募を目指しているとのことで、徳島発の現代アート全国公募展に発展させてほしいと期待している。

慶事としては、鎌田邦宏さんと矢野款一さんが第9回とくしま芸術文化賞を受賞したことである。作家として長年の活動実績が高く評価されたもので、喜ばしい限りである。鎌田さんの受賞記念展が、12月にあわぎんホールで開催された。全身像を20点余り展示した大規模な個展となり反響も大きかった。

最後になりましたが、徳島県、徳島新聞社、四国放送及び美術家協会関係者に感謝の意を表します。

平成30年3月

平成 28 年度事業報告

- (1) 総 会 ◇平成 28 年 6 月 4 日（土）13:30
◇あわぎんホール 5F 会議室 6
◇平成 27 年度事業報告及び決算報告
◇監事報告・承認
◇平成 28 年度事業計画及び予算審議
◇その他
- (2) 第 24 回放美展
- (3) 第 71 回徳島県美術展
- (4) 第 12 回徳島県こども美術展
- (5) 関係会議 ◇ 4 月 10 日（日）13:30 美協理事会 総合福祉センター
◇ 4 月 22 日（金）17:30 第 1 回放美展運営委員会 四国放送
◇ 5 月 26 日（木）17:30 第 1 回徳島県展運営委員会 徳島新聞社
◇ 6 月 4 日（土）13:30 美協総会 あわぎんホール
◇ 8 月 24 日（水）17:30 第 2 回徳島県展運営委員会 徳島新聞社
◇ 9 月 4 日（日）13:30 美協理事会 あわぎんホール
◇ 12 月 7 日（水）17:30 第 2 回放美展運営委員会 四国放送
◇ 2 月 8 日（水）17:30 第 3 回県展運営委員会 徳島新聞社
◇ 2 月 25 日（土）13:30 美協理事会 あわぎんホール
- (6) 各部会行事 ◇日 本 画 部 第 57 回新作日本画展（28.6.23 ～ 26） 阿波銀プラザ
◇彫 刻 部 美協彫刻部会展（28.6.29 ～ 7.3） 阿波銀プラザ
◇洋 画 部 第 30 回洋画部会員展（28.6.30 ～ 7.3） あわぎんホール
◇写 真 部 写真部撮影会（28.6.19） 倉敷美観地区
- (7) 各種後援 ◎徳島大学 大学開放実践センター写真講座修了生とその仲間展
(28.4.1 ～ 4)
◎第 8 回阿波美術の森（旧市場油絵の会） (28.4.6 ～ 12)
◎第 23 回耿の会書作展 (28.4.7 ～ 9)
◎鳴門水彩美学展 (28.4.9 ～ 13)
◎第 44 回光輪会書作展 (28.4.15 ～ 17)

◎第 38 回泉心会書作展	(28.4.15 ～ 17)
◎16 th UNIT-D 写真作品展	(28.4.20 ～ 22)
◎ニッコールクラブ 第 17 回徳島支部展	(28.4.22 ～ 24)
◎第 57 回新作日本画展	(28.4.23 ～ 26)
◎第 34 回徳島平和美術展	(28.5.12 ～ 15)
◎第 46 回直心会書作展	(28.5.20 ～ 22)
◎第 7 回木田英之（塾）写真展（課題）	(28.5.20 ～ 22)
◎中川 健 日本画遺作展	(28.5.24 ～ 30)
◎第 39 回写真同人「炎」作品展	(28.6.3 ～ 5)
◎徳島アート 21 第 14 回展	(28.6.9 ～ 12)
◎第 13 回五果会書道展	(28.6.10 ～ 12)
◎第 39 回八紅展	(28.6.16 ～ 19)
◎第 20 回せせらぎ書展	(28.6.17 ～ 19)
◎現代書 2 人展	(28.6.17 ～ 19)
◎第 37 回東光会徳島支部展	(28.6.24 ～ 26)
◎第 2 回和光社書展	(28.7.15 ～ 17)
◎第 75 回世代美術展	(28.7.15 ～ 18)
◎第 29 回長玄書道会展	(28.7.15 ～ 18)
◎第 12 回総合美術展	(28.7.16 ～ 18)
◎四国大学書道文化学科 第 30 回教員展	(28.8.5 ～ 7)
◎三美書研展（第 24 回三好美馬書道研究会展）	(28.8.19 ～ 21)
◎第 5 回青藍会書作展	(28.8.26 ～ 28)
◎第 11 回写真同人「光」展	(28.8.26 ～ 28)
◎第 81 回書芸院展	(28.9.1 ～ 4)
◎第 7 回グルッポフォト 23 写真展	(28.9.2 ～ 5)
◎第 61 回書協人展	(28.9.16 ～ 18)
◎第 72 回青美展	(28.9.16 ～ 19)
◎第 15 回記念 一心会書展	(28.9.22 ～ 25)
◎第 56 回写楽会写真展	(28.9.23 ～ 25)
◎第 20 回記念旺美展（旺玄会東四国支部展）	(28.10.7 ～ 13)
◎第 22 回徳島障害者芸術祭	(28.10.12 ～ 16)
◎第 3 回写真倶楽部八丁目写真展	(28.10.15 ～ 17)
◎第 9 回徳島絵画美学展	(28.10.19 ～ 23)
◎第 21 回尚真書展 併設ジュニア展	(28.10.28 ～ 30)
◎藍美展	(28.11.3 ～ 6)
◎第 6 回木田英之と合同クラブ写真展	(28.11.11 ～ 13)

◎第 12 回吉野川寿人会作品展	(28.11.11.3)
◎第 14 回徳島版画展	(28.11.16 ～ 20)
◎第 6 回琴清会書展	(28.11.18 ～ 20)
◎虹光会書展	(28.11.25 ～ 27)
◎第 46 回芳藍書道展	(28.11.25 ～ 27)
◎第 2 回つくしの会展	(28.11.25 ～ 27)
◎峯 幸子 展	(28.12.2 ～ 6)
◎第 37 回臨池書展	(28.12.3 ～ 4)
◎書道企画展「第 1 回書道創作グランプリ」	(28.12.3 ～ 15)
◎第 22 回六書会書展	(28.12.9 ～ 11)
◎第 45 回歳末チャリティー作品・色紙即売会	(28.12.20 ～ 22)
◎第 49 回モダンアート協会徳島支部展	(29.1.12 ～ 17)
◎第 1 回由源書心会展	(29.2.3 ～ 5)
◎第 41 回東玄書道会展	(29.2.3 ～ 5)
◎第 27 回美術文化徳島支部展	(29.2.9 ～ 13)
◎第 42 回四国大学書道文化学科卒業制作展	(29.2.16 ～ 19)
◎第 31 回正鋒会書展	(29.2.24 ～ 26)
◎岩崎英昭写真展	(29.3.1 ～ 5)
◎第 22 回悠美展	(29.3.3 ～ 5)
◎桂和会書展	(29.3.3 ～ 5)
◎第 37 回書研社展	(29.3.10 ～ 12)
◎第 48 回ナルトぴんぼけクラブ写真展	(29.3.10 ～ 12)
◎平成 28 年度 徳島大学書道部・OB 会書作展	(29.3.17 ～ 19)
◎第 6 回流輝会展	(29.3.24 ～ 26)
◎西 南龍 遺墨展	(29.3.24 ～ 26)
◎一般社団法人 日本美術家連盟 四国地区会員展	(29.3.30 ～ 4.2)
◎第 14 回五果会書道展	(29.3.31 ～ 4.2)

平成 29 年度 役員名簿

会 長	河 崎 良 行	理 事	竹 田 和 代
副会長	松 下 雄 介	〃	薄 田 玲 泉
〃	西 野 和 男	〃	能 仁 華 瑤
事務局長	松 永 勉	〃	田 中 一 郎
理 事	岡 英 彦	〃	福 井 章
〃	長 谷 壽	〃	坂 本 三千一
〃	土 井 洋 子	〃	沢 口 功
〃	土 方 るみ子	監 事	佐 藤 隆
〃	平 木 美 鶴	〃	森 住 博
〃	黒 崎 志 郎	顧 問	長 尾 弘 子
〃	露 口 敏 幸	〃	櫛 渕 魏
〃	田 中 シゲミ		
〃	西 川 周 三		
〃	上 野 照 文		
〃	橋 本 圭 祐		
〃	井 藤 光 章		
〃	林 敏 彦		
〃	増 田 寿		
〃	松 永 勉		
〃	鎌 田 邦 宏		
〃	井 下 俊 作		
〃	上 月 佳 代		
〃	松 下 慶 一		
〃	森 賢 一		
〃	橘 惠		
〃	森 明 治		
〃	荒 井 彭 仙		
〃	隅 田 英 二		

平成 29 年度 各部役員名簿

日本画部

部会長	岡 英 彦
委 員	長 尾 弘 子
〃	西 野 和 男
〃	長 谷 壽
〃	土 井 洋 子
〃	土 方 るみ子
〃	柳 田 一 子
〃	坂 容 子
監 事	中 西 芳 雄
〃	日 浦 猛 史
事務局員	日 浦 猛 史
〃	柳 田 一 子

洋画部

部会長	平 木 美 鶴
委 員	榊 田 務
〃	黒 崎 志 郎
〃	露 口 敏 幸
〃	長 尾 弘 久
〃	玉 田 秀 子
〃	田 中 シゲミ
〃	西 川 周 三
〃	伊 勢 浩 章
〃	嵯 峨 潤 三
〃	鈴 木 啓 子
〃	島 上 二 郎
〃	近 藤 克 子
〃	二 條 均
〃	遠 藤 誠 一
〃	手 塚 てる子
監 事	田 中 シゲミ
〃	伊 勢 浩 章
事務局員	西 川 周 三
〃	田 中 シゲミ

写真部

部会長	上野照文
委員	櫛渕魏
"	橋本圭祐
"	井藤光章
"	林敏彦
"	増田寿
"	田村泰弘
"	伊達照子
"	大和健司
"	森住博
"	川眞田慶治
"	堀口幸男
"	野藤みきよ
"	梅本貞範
"	岩崎英昭
"	平野史子
"	賀川泰広
"	船越正文
"	大津勝治
"	武地雅行
"	土橋成一
"	野口佳司
"	三木理男
"	森内昭廣
"	田中伸治
"	井上憲三
"	阿部啓勉
"	福田隆之
"	吉田村泰弘
監事	田森住博
"	森井上憲治
事務局員	井阿部啓三
"	阿部啓三

彫刻部

部会長	松永勉
委員	佐藤隆
"	井下俊作
"	鎌田邦宏
"	居上真人
"	武田亜希子
"	東光司
監事	上月佳代
"	武田亜希子
事務局員	松永勉
"	木村大志

美術工芸部

部会長	松 下 慶 一
委 員	山 上 馨
"	七 條 猪三郎
"	矢 野 款 一
"	多智花 佐代子
"	森 賢 一
"	橘 惠
"	犬 伏 絢
"	斎 藤 和 彦
"	森 明 治
"	藤 井 哲 信
"	田 村 栄一郎
監 事	大 貝 貞 雄
"	松 本 宏
事務局員	森 明 治
"	藤 井 哲 信

書道部

部会長	荒 井 彭 仙
委 員	青 木 東 原
"	赤 川 景 舟
"	朝 三 皐 如
"	東 南 光
"	阿 部 博 子
"	和 泉 和 舟
"	伊 丹 東 龍
"	井 上 虹 雨
"	岩 本 志 豪
"	上 田 輝 芳
"	上 野 益 泉
"	内 田 麻 紀
"	大 下 江 波
"	大 西 清 葩
"	岡 崎 啓 香
"	沖 田 唐 谷
"	折 野 幸 峰
"	折 野 佳 子
"	加 村 喜美子
"	亀 石 文 苑
"	川 上 虹 泉
"	河 野 静 江
"	河 野 真 流
"	河 野 多 美
"	川 端 康 清
"	川 村 春 琴
"	岸 緑 香
"	日 下 溪 翠
"	倉 本 景 雨
"	幸 田 清 尚

委 員	芝 原 醒 鶴
"	清 水 桂 月
"	下 村 清 子
"	春 藤 大 耿
"	鈴 江 美 音 子
"	鈴 木 恵 理
"	薄 田 玲 泉
"	隅 田 英 二 峯
"	高 瀬 大 青 蓮
"	高 田 早 秀
"	高 柳 洋 香
"	田 上 鳴 雲
"	武 市 和 代
"	竹 田 玲 香
"	武 田 清 芳
"	多 田 乾 香
"	玉 城 乾 舞
"	玉 城 乾 泉
"	富 久 鳴 子
"	中 尾 史 子
"	中 谷 皐 月
"	長 原 皐 聖
"	長 原 春 苑
"	永 松 村 岳
"	中 木 志 香
"	仁 谷 香 峰
"	西 能 仁 華 瑤
"	花 本 清 香
"	浜 佳 香
"	林 桂 翠
"	林 美 雪

委 員	平 岡 幽 琴
"	弘 田 長 風
"	福 永 美 泉
"	藤 村 柳 葉
"	藤 原 育 代
"	松 永 翠 月
"	丸 岡 春 曉
"	丸 田 恵 風
"	三 宅 葉 子
"	三 浦 富 美 代
"	南 溪 石
"	美 馬 幾 美 賀
"	宮 井 青 雨
"	宮 守 崇 流
"	向 井 京 子
"	森 光 翔
"	森 本 成 玉
"	八 木 藍 玉
"	山 口 華 城
"	山 口 幽 徑
"	山 本 景 琴
"	吉 田 翠 彩
監 事	日 下 溪 翠
"	林 桂 翠
事務局員	長 原 皐 月
"	林 美 雪

デザイン部

部会長	田 中 一 郎
委 員	坂 本 三千一
〃	福 井 章
〃	沢 口 功
〃	敷 島 のり子
〃	吉 本 實
〃	北 島 豊 嗣
〃	四十宮 隆 志
〃	西 林 良 枝
〃	斎 藤 剛
監 事	山 内 典 子
〃	天 羽 宏 美
事務局員	吉 本 實
〃	四十宮 隆 志

第 25 回放美展記録

会 期 平成 29 年 5 月 2 日（火）～ 6 日（土）

時 間 10：00～17：00（入場は 16：30 まで）

会 場 あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

日本画

[審 査 員] 岡 英彦 土方るみ子 中西 芳雄

[無 鑑 査] 富永 博子

[放 美 賞] 大山 和輝

[優 秀 賞] 西岡 ちほ 天羽 弘毅

[放美展 25 周年記念賞] 中川 敬

[四国大学賞] 濱崎 夢

[入 選] 水田 貴子 大山 和輝⁽²⁾ 井上美恵子 植田 忠生 三ツ本繁美
中嶋 昌子 久保 守近 関本 節子 森本 秀代 廣瀬 彩奈
野村 梨乃 濱崎 夢 森 ひなた 広瀬 優 藤本 柚希
中川 緑恋

洋 画

[審 査 員] 平木 美鶴 嵯峨 潤三 伊勢 浩章

[無 鑑 査] 杉本 祥子

[放 美 賞] 佐竹 菜花

[優 秀 賞] 小笠原秋子 杉村 良典 大久保由子 鈴木 敬子 鈴江空里子
畑山綾太郎

[放美展 25 周年記念賞] 大久保佐智子

[四国大学賞] 坂東沙也加

[入 選] 谷 慎也 岩井 千晴 藤本 誠子 新藤佐代子 井沢 忠昭

多田美千代	林 静代	中西美智代	眞鍋たえ子	村川 千代
遠藤公美子	中木 恵子	米津 良子	林 敏雄	武田 洋子
賀川紀美子	姫田 正義	大坪潤一郎	井関久美子	櫻木 直美
西條 敏夫	竹原 良亮	松崎 和子	馬淵 博子	米沢 博
高橋 幸二	小笠 正明	高木 宏	田中千恵子	白草 由子
前川フキ子	宮内 一子	篠原 彩香	村瀬 皐月	坂東 悦子
中筋奈津子	中内あい子	山口 明美	東原 綺子	横井嘉世恵
黒島 貞子	中村 由春	横畠 寛	富永トモ子	齋藤 裕介
答島 和年	坂東 弘子	谷口 克子	曾我部清美	岩井 春美
安友三恵子	篠原 稔	工藤 桂子	東 朗	阿部 昌子
福本 恵	中村 俊夫	前野 亮治	田中 敏雄	丸関 朋子
野上 恵子	谷 夏実	井上わかな	岡本 雄	中矢 千尋
中原穂乃佳	伊勢谷昭博	岡崎 恵	松野 純也	米田和希子
笠原 三奈	高志 晏奈	野口 佳音	石川ひかる	富田 百香
大西諒太郎	森 万記	助岡 美穂	畑中 修	湯浅まなみ
粟飯原満子	前田 希	徳元 丈士		

写 真

[審 査 員]	増田 寿	大和 健司	岩崎 英昭		
[無 鑑 査]	多田 進	川西 明雄	田中 伸廣	福井 純子	熊谷美智子
	島 廣幸	大西 啓子	高橋 一恵	野藤みきよ	
[放 美 賞]	泉 清美				
[優 秀 賞]	幾田 茂仁	増田 実	森住 孝義	板東美智代	谷 嘉明
	滝畠 豊美	住友 登	おどみ岐調	板東よしお	佐竹 清
	宇治 秀壽	野藤 敏美	賀川 泰広	谷 ひづる	
[放美展 25 周年記念賞]		脇 俊二			
[四国大学賞]	三木 啓司				
[入 選]	幾田 茂仁	加藤 敬二	増田 実 ⁽²⁾	井上 義信	福居 幹夫 ⁽³⁾

大野 光祥	森住 孝義	泉 清美 (2)	板東美智代 (2)	谷 嘉明
鈴江 純史	河野 俊文	松崎 真弓 (2)	春田 操 (2)	野村 和夫
鈴江久美子 (2)	鎌田 克臣	稲岡 武 (2)	原田 章一 (2)	松家 安信
住友 登	富岡佳代子 (2)	辺見 博子	松田 瑞穂	笹賀 正弘
おどみ岐謡	福井 邦博 (2)	野田 賢 (3)	塩江 優 (3)	板東よしお (2)
団 芳男	佐竹 清	長岡 和美	山田 喜吉	岡 三希生
氏師 敏晴	岸田 義市 (2)	新居滉太郎	森崎 茂	三谷美津子
郡 英明	河野 悟子	山口 正明 (3)	山上 堯 (2)	山上 道子
原 和夫	秋山 修一 (2)	鍋島治世子	南 敦子 (2)	佐藤 義雄
秋田 召旨	多田 泰之	竹内 一雅	水口 ゆみ (3)	岡本 満幸
宇治 秀壽	柏原 史郎	中山 洋三 (2)	山下 助信	紅露 隆
吉田 隆之	山下 修司 (3)	大野 元幹 (2)	佐藤美智子 (2)	大池 孝志
妹尾 隆浩	武田 幸代 (2)	岡本 早苗	新居 庚	大西 忠 (2)
松浦 孝	有馬 正司	賀川 泰広	谷 ひづる (2)	廣野美知子
山本 悦子				

彫 刻

〔審査員〕 長岡 強 松永 勉 井下 俊作

〔無鑑査〕 大貝 寿子

〔放美賞〕 吉田 陽子

〔優秀賞〕 小林 正則

〔放美展 25 周年記念賞〕 大貝 貞雄

〔四国大学賞〕 岡田みなみ

〔入 選〕	横畠 寛	川西 徳男	井関 美希	平野紗椰茄	渡邊 啓道
	奥 敬嗣	吉井 夢女	美馬健太郎	楮山穂乃佳	埴淵 照二
	Travis Frink	筒井 豊	野村帆奈美	垣本 彩絵	

美術工芸

[審査員]	七條猪三郎	松下 慶一	橘 惠		
[無鑑査]	松本 宏	大貝 寿子	大貝 貞雄		
[放美賞]	原田 明實				
[優秀賞]	久保 英樹	東條 容子	武田 潤子	尾藤 芳尚	吉野 由紀
[放美展 25 周年記念賞]		大内 敏男			
[四国大学賞]	坂東 穂南				
[入選]	中川 澄男	妹尾 文子	阿部 能則	上田 優	小川 光 (2)
	家形笑美子	高島 悦江	岡本 郁雄	佐治 孝	久保 英樹
	平瀬 進也	今泉 畔	森 克江	長尾賀代子	宮本 真弓
	横井嘉世恵	岡本亀代子	村川 榮一	新田 隆子	青木 壽美
	遠藤 好子	丸井 明	平尾 静子	長谷川正龍	中西 達也
	長尾 敏子	高瀬 裕司	戸島 裕明	西内 貞二	山村 明敬
	赤紗 空暎	篠原 安雄	日下 彩子	小林 清重	眞鍋 諭弘
	前野 亮治	石井 和男	四宮 千代	宮本 薫	伊藤エミ子
	泉 良子	小笠原久美子	川島 千鶴	小松 茜	板東 啓子
	原田 明子	遠藤 勇	高倉 哲司	岩坂 久美	松永 卓司
	手塚 健一	増田 満	下内 良一	巽 安子	酒井 鞠奈
	丸岡 遥也	森本 早紀	松本 萌	向 紫	近藤佐起江
	松本みづる	大東 信隆	澤 泰地	藤中 教代	石井 春夫
	上久保佳子	前川 政秀	瀬山 和子	久米 伸子	上田 正美
	玉井貴美子				

書道

[審査員]	隅田 英二	中尾 勝子	日下 溪翠
[無鑑査]	春川 青超		
[放美賞]	西谷 香峰		

[優 秀 賞]	益岡 輝実	吉本 智恵	石川 翔子	田村 元帥	真鍋 花菜
	村田 苔石	井内 清月	坂尾 竟成	賛田美恵子	
[放美展 25 周年記念賞]					
[四国大学賞]					
[入 選]	逢坂優妃奈				
[入 選]	佐滝 泉月	守田 禎香	中村 絢子	手塚 浩美	戸出 芳泉
	久次米絵里	満村 泰子	山本 莉子	祖月輪音々	齋藤 青空
	喜瀬 夢叶	岡田 樹	伊庭 七海	山添 彩華	丸山 柚佳
	古田真由美	中田 昇吾	内田 美子	久保 抱雲	上野 益泉
	細井 青峯	妹尾 紅雲	井内 城雲	井野 恵風	井元 翠葉
	後藤田美智	丸岡 真弓	辻 光石	田中 玲子	齋藤 節子
	田中 杏奈	谷本 藍泉	清水 芳雲	齋藤千代子	木内 暎光
	樽家 奈々	北野 静香	尾崎 里奈	寺内 真優	披田 壤
	四宮 花奈	本田さくら	丸中 真姫	片岡 美悠	網干 綺斗
	関口 佳那	川崎 菜央	瀧 こなみ	新瀧 啓歩	樫原 誉
	近藤 碧泉	露口 舞子	日下 彩	戸川真幹子	稲井 美里
	中西 之桐	藤田 桃樺	秋成 怜美	幸山 晴輝	組屋 雄紀
	福田 真由	笹尾 咲良	森川 望	糀 真理子	仁木あかり
	阿部 有花	若林 美紀	中野 朱理	岡本 奈々	梯 瑚子
	高島 夏花	友廣 京佳	井上 裕稀	森 葉音	木内 理紗
	作道 泉美	大胡恵里香	長崎 香春	林 由美	川村 佳世
	大胡 真美	阿部 公恵	仁尾 美弥	前川 和奏	原田 理絵
	小野 宙成	児玉 幸子	森本 成玉	川端 康清	高瀬 大峯
	正見 千恵	川又 晃容	幸田 清尚	佐藤由紀代	喜多美千代
	三原 瑞洲	神野友夏子	安部絵梨奈	岩野ひかる	岡部 百恵
	山本 波舟	由利 里子	西 朱理	岩佐 万葉	池内 愛美
	船崎スエ子				

デザイン

[審査員]	敷島のり子	吉本 實	北島 豊嗣		
[放美賞]	田中 綾乃				
[優秀賞]	村田佳奈子	田中見那美	高田 愛侑	森 風斗	田村 あい
[放美展 25 周年記念賞]		南 絵里佳			
[四国大学賞]	長濱 綾花				
[入 選]	田中 公代	岡田 典子	三木理紗子	半田 成葉	相原 佑香
	中西 絢樹	松島 早紀	美馬佳那子	粟飯原 稜	山崎 百絵
	粟飯原早希	杉本 早	福井 桃菜	山村 郁弥	大西 咲
	双葉きみこ	河見 優希	齊藤 理菜	粟飯原倫佳 (2)	武林 莉杏
	住友 亜美	有田 瑞希 (2)	三浦有友奈	森 風斗	前川 美玲
	板東菜都子	山野井宏宗 (2)	岡田 亜実	青木 菜那	齋 里菜
	藤原 有希	柴村友加梨	田村 あい (2)	宮本 陽香	天羽 宏美
	重松 莉帆	坪内 美柚			

第 25 回放美展出品・入選等状況

区分 \ 部門		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		30	150	337	25	113	221	119	995
出 品 者 数		27	135	135	20	80	181	100	678
入 賞 ・ 入 選	放 美 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	優 秀 賞	2	6	14	1	5	9	5	42
	放美展25周年 記 念 賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	四国大学賞	1	1	1	1	1	1	1	7
	入 選 数	17	83	109	14	72	106	41	442
	計	22	92	126	18	80	118	49	505
	入 選 率	73.3	61.3	37.3	72.0	70.0	53.3	41.1	58.3
選 外	落 選 数	8	58	211	7	33	103	70	528
	落 選 率	26.7	38.7	62.7	28.0	30.0	46.7	58.9	56.9
無 審 査 出 品	審 査 員	3	3	3	3	3	3	3	21
	無 鑑 査	1	1	8	1	3	1	0	15
	計	4	4	11	4	6	4	3	36
展 示 数		26	96	137	22	86	122	52	541

第 25 回放美展公募規定

部門 区分	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
書類受付期限	平成 29 年 4 月 10 日（木）			
搬入日	平成 29 年 4 月 29 日（火・祝）			
搬入場所	あわぎんホール（県郷土文化会館）3 階展示室			
審 査 日	平成 29 年 4 月 29 日（火・祝）			
審 査 員	岡 英彦 土方るみ子 中西 芳雄	平木 美鶴 嵯峨 潤三 伊勢 浩章	増田 寿 大和 健司 岩崎 英昭	長岡 強 松永 勉 井下 俊作
出 品 料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円			
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内			
入 賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・放美展 25 周年記念賞 各部門 1 点 ・四国大学賞 各部門 1 点（25 歳以下の入選者から選出）			

部門 区分	美術工芸	書 道	デザイン
書類受付期限	平成 29 年 4 月 10 日（木）		
搬入日	平成 29 年 4 月 29 日（火・祝）		
搬入場所	あわぎんホール（県郷土文化会館）3 階展示室		
審 査 日	平成 29 年 4 月 29 日（火・祝）		
審 査 員	七條猪三郎 松下 慶一 橋 恵	岡田 英二 中尾 勝子 日下 溪翠	敷島の子り 吉本 實 北島 豊嗣
出 品 料	1 点目 3,000 円 2 点目・3 点目各 1,000 円 高校生・高専生は 1 点 1,000 円		
応募資格・出品制限等	・未公開作品に限る ・高校生以上 ・県内外不問 ・作品のみ送付は不可 ・1 人 3 点以内		
入 賞	・放美賞 各部門 1 点 ・優秀賞 出品点数 25 点につき 1 点 ・放美展 25 周年記念賞 各部門 1 点 ・四国大学賞 各部門 1 点（25 歳以下の入選者から選出）		

- 注 1) 入選数は出品点数に応じでの規定数とする
 2) 選外作品及び展示作品は各部門の決められた日時までに搬出すること
 3) 所定の期日までに搬出しなかった作品は出品者の送料負担（梱包料金を含む）で返送する

第 72 回徳島県美術展記録

会 期 第 1 期 平成 29 年 10 月 6 日（金）～ 11 日（水） 日本画・洋画・彫刻
 第 2 期 平成 29 年 10 月 13 日（金）～ 18 日（水） 写真・美術工芸・デザイン
 第 3 期 平成 29 年 10 月 20 日（金）～ 25 日（水） 書道
 時 間 9：30～17：00
 会 場 あわぎんホール（徳島県郷土文化会館）

日本画

[審 査 員] 村岡貴美男
 [特別出品] 西野 和男 岡 英彦
 [招 待] 土方るみ子 土井 洋子 中西 芳雄 日浦 猛史 柳田 一子
 反田 卓
 [無 監 査] 坂 容子 梶浦 千瑞
 [賛助出品] 長谷 壽
 [特 選] 平野 真里（四国放送社長賞）
 西岡 ちほ
 [準 特 選] 富永 博子 石原 千鶴 石動 智子
 [奨 励 賞] 森本 秀代 中嶋 昌子 吉村 敬子
 [入 選] 清水佳代子 宮越 千佳 谷 尚武 水田 貴子 久保 守近
 鈴木 恵子 澤 真弓 井上 弘子 中川 敬 関本 節子
 大塚さや香 森崎 雅子 岩木 寿美 新居麻里子 鍋島治世子
 濱崎 夢 後藤田 実 泉 福美

洋 画

[審 査 員] 森本 勇
 [特別出品] 榊田 務 平木 美鶴
 [招 待] 清水 亟悞 露口 敏幸 長尾 弘久
 [無 監 査] 西川 周三 玉田 秀子
 [賛助出品] 黒崎 志郎 松川 寛 中辻奈美枝
 [特 選] 美馬 潤子（徳島県美術家協会会長賞）
 林 静代 加賀谷愛美
 [準 特 選] 丹生 照子 田村 秀子 天本 愛子 佐竹 菜花 櫛 和也

佐藤 敬子

[奨励賞]	大坪潤一郎	徳元 丈士	眞鍋たえ子	楨本 良平	高橋 幸二
[入選]	広瀬 直	大津 憲文	福本 恵	松野 純也	米田和希子
	杉本 祥子	林 敏雄	加川由紀子	谷 慎也	二階千鶴子
	岩佐 孝男	村上 富子	佐々木公子	坂東美瑞穂	富田 百香
	丸本 志穂	赤木 秀明	住友 洋士	藤本 千秋	藤井 香世
	笠原 三奈	野口 佳音	瀬川 政子	竹原 良亮	横関 義弘
	坂東 富恵	田中 敏雄	上田 幸子	大平 妙子	森 幸江
	久保 和子	大南 芳子	平山 倫子	宮本 典子	浅井 清司
	永野 耕一	前川フキ子	福良 哲子	笹田 義宏	島田 純江
	宮田 京子	田浦 佳江	岩井 千晴	岡田 典子	阿部 幸子
	富浦 道子	山口 明美	内田 満	大串 直行	眞柴 保男
	小川 美輝	西川 敬子	前野 亮治	田中 康子	早内 陽子
	野口 暁子	米沢 博	高橋 照子	川中比沙子	賀川紀美子
	藤川 愠	眞野 尚枝	阿部 昌子	巽 正子	井本 良明
	小笠原秋子	小泉たか子	川上 晴美	手塚てる子	横畠 寛
	渡辺 澄恵	岡崎 恵	田村 克也	小浜 敏也	谷口 克子
	三谷ミヤ子	折目 早苗	藤本 誠子	青木 幸子	脇 裕子
	花待 昭文	嶋田 雅子	増井 厚子	河本多恵子	島津 千尋
	松本 勇夫	田中シゲミ	篠原 彩香	嵯峨 潤三	萩原 典子
	谷 麻子	染田 節子	白草 由子	浅野 近男	犬伏美智子
	中村 俊夫	梅津美砂代	小川 松枝	坂東 弘子	後藤 和子
	答島 和年	伊勢 浩章	鈴木 敬子	姫田 正義	三木田眞由美
	二條 均	中内あい子	工藤 桂子	天野 功治	佐々木志帆
	細谷 孝子	大久保由子	土橋 正子	日野 邦恵	細川 鈴香
	安友三恵子	武田 洋子	石幸 忠雄	宮内 一子	尾崎 忠臣
	黒島 貞子	小笠 正明	中筋奈津子	新藤佐代子	長坂 芳子
	菊本 静子	板井 義典	小倉健太郎	藤井 博之	村川 榮一
	大西 文代	仁木 英子	湯浅まなみ	鈴江空里子	川口 均

写真

[審査員]	大西みつぐ				
[特別出品]	櫛渕 魏	上野 照文			
[招待]	木田 英之	勝西 雅夫	三好 和義	森 賢一	橋本 圭祐

	前浦 芳久	林 敏彦	古井 謙吉	井藤 光章	増田 寿
	柳本 正	大和 健司	船越 正文	堀淵 完治	岩崎 英昭
	久保 英樹	堀口 幸男	森住 博		
[無 監 査]	吉村 敏嗣	多川 静守			
[特 選]	多田 泰之 (徳島県知事賞)				
	泉 清美	福井 邦博	辺見 博子		
[準 特 選]	増田 実	幾田 茂仁	山田 卓	熊谷美智子	野田 賢
	須原 仁志	杉本 昌弘	森内 昭男	井上 憲治	
[奨 励 賞]	遠藤 博敏	中野みどり	谷 嘉明	野村 和夫	谷 賢太郎
	福原 敏雄	山田 喜吉	福原 和代		
[入 選]	秋山 修一	遠藤 博敏	国見 良幸	稲井 建司	三谷美津子 (2)
	小原 英児	高曾根信義 (2)	勝瀬 彪	藤本 英子	福田 勉 (2)
	瀧花 性善	阿部 啓三 (3)	平澤 澄子	幾田 茂仁 (3)	大和 章人
	稲岡 武	棚橋 仁志	田村 清憲	西岡まゆみ	岡本 早苗
	岸田 義市	河野 悟子	泉 清美	中山 洋三	池田 啓子
	柏原 史郎	水口 ゆみ (2)	中野みどり	板東よしお	福井 純子 (2)
	福井 邦博 (2)	水口 義行	山下 修司	郡 英明 (2)	板東美智代
	加藤 敬二	加藤 郁代	江口美恵子	山田 稔	原田 愛
	熊谷美智子	福永 豊	山上 道子	齋藤 幹夫	原 嘉久仁 (2)
	井上 秀人 (2)	姫野 博司	大塚 尚 (2)	山田 喜吉	長岡 和美
	前川わかな	鳥井 敬一	石川 徹雄	福原 和代	古岡 友子
	宇治 秀壽	桑原 明伸	谷 ひづる (2)	圓藤由貴子 (2)	土橋 貴明
	団 芳男	竹内 一雅	山田 勝二	田中 伸廣 (2)	鈴江久美子 (3)
	喜多 昌弘	江口ひろえ	鈴江 純史 (4)	佐野 和史	おどみ岐調
	野藤みきよ	川眞田慶治	櫛渕 紳哉	野口 佳一 (2)	土橋 成行
	平野 史子	高橋 一恵 (4)	井上 憲治	田村 泰弘	佐治 孝

彫 刻

[審 査 員]	國安 孝昌				
[特別出品]	河崎 良行	佐藤 隆	松永 勉		
[招 待]	井下 俊作	鎌田 邦宏	居上 真人	上月 佳代	
[無 監 査]	武田亜希子				
[贊助出品]	長岡 強				
[特 選]	東 光司 (徳島県議会議長賞)				

[準 特 選]	吉田 陽子	木村 大志				
[奨 励 賞]	大貝 寿子	笠井 正彦				
[入 選]	楮山穂乃佳	二宮 治夫	高丸 公相	渡邊 啓道	岡田みなみ	
	小林 正則	林 一美	筒井 豊	横畠 寛	近藤 美咲	

美術工芸

[審 査 員]	若山 裕昭					
[特別出品]	七條猪三郎	松下 雄介	松下 慶一			
[招 待]	多智花佐代子	森 賢一	橘 恵	犬伏 絢	斎藤 和彦	
	森 明治					
[無 監 査]	藤井 哲信					
[贊助出品]	中川 存	矢野 款一				
[特 選]	楠 博子 (徳島県教育委員会教育長賞)					
	前野 亮治					
[準 特 選]	久保 英樹	前川 政秀	大貝 貞雄	石田 節子		
[奨 励 賞]	四十宮年代	上田 優	泉 良子			
[入 選]	吉田 陽子 (3)	中西 達也	四十宮年代	長尾 敏子	高瀬裕司 (2)	
	妹尾 文子 (2)	藤中 教代	宮本 薫 (2)	大貝 寿子 (2)	阿部 能則 (2)	
	西澤 淳子 (2)	原田 明實	大井川良江 (2)	丸居 哲雄	久保 英樹 (3)	
	橋本 正子	手塚 健一 (2)	松永 卓司	山本 和子	平尾 静子 (2)	
	大貝 貞雄	池渕 節子	近藤美佐子	渡辺美恵子	井上 英子	
	小林 清重	向 紫	高橋 正昭	中川 澄男	三橋 玄児	
	梶原 浩二	平瀬 進也	亀井 良子	穴山千代子 (2)	河野 美枝	
	横井嘉世恵	川島 千鶴	長尾賀代子	田村栄一郎	大内 敏男	
	平井 恵子	原田 明子	松本 宏	金澤 博子	田中木美子	
	村川 榮一	西内 貞二	川上るり子	森本恵美子	住 廣子	
	福本美智代	眞鍋 謙弘 (2)	山本 由実	田村 進	杉原 悦子 (2)	
	天羽 正夫					

書 道

[審 査 員]	新井 光風	村上 俄山	室井 玄聳
[特別出品]	春藤 大耿	荒井 彭仙	

[招 待]	宮井 青雨	長原 皋聖	芝原 醒鶴	清水 桂月	美馬幾美賀
	中谷 史子	川上 虹泉	日下 溪翠	竹田 和代	山口 華城
	藤若 美風	武市 鳴雲	中尾 勝子	富久 鳴泉	永松 春苑
	島田 小園	坂本 霄風	浜 佳香	隅田 英二	多田 清芳
	玉城 乾香	薄田 玲泉	能仁 華瑤	高田 青蓮	三浦富美代
	宇山 泰鳳	亀石 文苑	岩本 志豪	林 桂翠	山口 幽徑
	米澤 東籬	戸出 芳泉	平岡 幽琴	宮守 崇流	
[無 鑑 査]	詫間 勝陽	向井 京子	福家 美鵬	矢部 知子	
[贊助出品]	東 南光				
[遺 作]	西 南龍	長谷 美峰	岡島 順子		
[特 選]	川村 真澄 (徳島市長賞)				
	谷 弘美	古川 恵巳	後藤真里奈	阿部 博子	上田 久恵
	岸 緑	富永美知子			
[準 特 選]	石川 翔子	田中 利子	大西 英徳	辻 尚子	坂東加奈子
	吉田 有子	河野紀代子	折野 佳子	杉本 裕子	田村富士子
	吉田さい子	大西千鶴子	大胡恵里香	村田 泰輝	
[奨 励 賞]	藤山真由里	林 みゆき	佐野 陽子	巽 由紀	新瀨啓太郎
	養毛 真琴	井上 彰夫	向井 境子	古谷 和代	玉城 若菜
	佐藤 恵子	前川わかな	中川 富量		
[入 選]					
漢字の部					
	稲山 由佳	斎藤須美代	吉田 幸代	久米 利典	山口 幸子
	中村 美子	佐渡 佳子	田中 育子	田中 偉嗣	池内 愛美
	園尾 淑子	西 朱理	谷本 洋子	真鍋 花菜	谷内 直美
	谷内 裕貴	小林 忠志	忠津 安子	由宇 典代	吉岡 逸子
	畠山ゆかり	田村 元帥	真鍋 洋子	松永 浩子	南 知枝
	泉川真理子	伊達 知美	清水 宏子	盛 知子	上田美千代
	北村 浩子	花本ふくみ	豊浦よし子	三谷 展子	近藤 紀子
	佐野恵美子	中野 愉美	見世亜紀子	山本 淹子	谷 令子
	後藤 郁子	土井 和也	谷泉 花子	川村友紀恵	丸岡 由美
	岡 幸江	七條 郁子	森川のぞみ	矢部 育実	鎌谷 幸代
	河野 由紀	長井あゆみ	沖田 章代	吉村 敬子	河見 忠信
	安友 彰子	鳩成 広美	後藤 紀代	西岡田さつき	阿部 千明
	佐々 京子	熊代 厚子	大塚 洋子	近藤 美香	澤本 鈴美
	木村 礼子	節 品子	河野久美子	山内希与子	中尾三智子
	坂本 敬子	吉平 順子	新見 明子	斎藤 裕子	石井 瞳

折野 茂幸	大下 富江	大野シゲ子	上野 益代	岡本美津代
中川恵美子	奥田 文子	村部 幸子	陶久 房枝	四宮 恭子
宮本 暁美	三崎美佐代	久積富美子	杉本 妙子	西改 俊子
柳本 真弓	四宮 仁美	板東 一男	恵美 恵子	荒井 和子
多田みどり	高柳 由美	岡部ひとみ	安丸 順子	伊達三智子
一宮 明美	奥田 仁美	高橋 信子	磯川 味佳	島 智子
岩本 義浩	瀬山奈緒美	竹内 綾菜	谷本真由美	平田 真紀
藤永 真里	斎藤 節子	中村 絢子	野口 有香	手塚 浩美
金川 裕子	浅川 陽子	横田 典子	鎌田 末子	守田 禎子
丸岡 真弓	仁木 福代	山中 佳子	益岡 輝実	江瀨 邦子
近藤 慶子	山城美三子	山崎 真美	八木 澄江	寺田 美穂
後藤田美智恵	石田 杏奈	井元 京子	井野めぐみ	妹尾 寛子
井内 久子	河野多美子	四宮 千春	後藤 佳美	稲木 裕美
板東 亜美	檜原 知明	秦 知美	川田多賀子	宮脇 郷子
若木 恭子	賀上 宝子	弘田 敏章	中西 淑子	片山 芳明
井上 公子	田上 洋子	馬居美智恵	柏尾美恵子	鈴木エリ子
稲井 知子	新見 辰馬	春藤 真紀	日野出夏穂	山下弥栄子
香川百々花	吉田 憲弘	脇 博		

篆刻の部

田渕 勲	竹内やす子	射場 博子	小林 義治	後藤真里奈
------	-------	-------	-------	-------

仮名の部

内田 道幸	糀 真理子	加村喜美子	高木美賀子	久積希実子
内田 麻紀	山橋不二子	田岡佐記子	笠原小夜子	畠山 政子
有持恵美子	中川 年代	吉田 好孝	脇坂 優	菖蒲 和代
藤井三樹子	和泉かず子	三宅 葉子	福村喜代子	新納 房子
稲江 司子	野木 友美	原口 栄子	松本由希子	背川 章子
竹中 敏恵	遠藤 由子	住友 裕子	廣瀬 久代	高橋加奈子
野上 美紀	赤川久美子	佐川 公子	倉本 節子	山蔭 和代
檜原 知義	森 裕美子	一ツ松真弓	豊岡真由美	沖野 道代
仁井 和美	石橋 幸恵	吉田 純	井上 まり	山本 美幸
佐野 久美	井上小百合	寺尾 俊通	池内 愛美	賛田美恵子
山本 恵子	真鍋 花菜	森川のぞみ	山本 愛美	島田 利枝
村田登志子	坂本 敬子	吉田 恵子	鈴江美音子	出口末喜子
笹田 真里	藤原 育代	河野 静江	中村 公子	町田 哲子
芳田 知子	喜多美千代	中筋 良江	関根 史子	久住 律子
平田 晶子	稲井由加里	寒田 祐奈	土佐 朱美	尾田 知恵

今津 英子	坂本 恵美	日下壽美子	濱口 恵	森 眞美
宮内 礼子	松下 智子	板東 杏樹		

近代詩文の部

若林 節子	和田 悦代	和田富美子	生野 久美	居和城幸代
岩崎 麻美	遠藤玻都恵	大井 多栄	大石 正	大西 英子
岡崎 啓子	小野 幸久	川下小夜子	川端喜美子	木田 史子
金城 泰子	栗林 和江	栗山 弘子	幸田 康代	児玉 幸子
小西真理子	坂尾 俊一	佐々木紫苑	清水美津子	高瀬 善郎
高橋 三紀	高橋美知江	武市 絢子	武田 淳子	谷本富美世
玉城 安和	玉城 豪	田村 知恵	富本 勲	長尾由美子
長原 七与	仁木シモエ	野田 満代	春川 登	坂東 裕美
藤村 良枝	藤本 優子	藤原 一子	正見 千恵	丸岡 良子
丸田 三恵	向井 通子	森 繁子	森岡嗣雅子	森本知世子
矢野 照代	横関久美子	吉田佐知子		

前衛の部

阿部 公恵	井内 梨加	長崎 香	大胡 眞美	仁尾 みや
川村 佳世	林 由美	若林 美紀	中野 朱理	岡本 奈々
梯 瑚子	高島 夏花	友廣 京佳	木内 理紗	井上 裕稀
森 葉音	東條 祐真	中田 幸希	永井 厚子	梶川 佳奈
中川 博雅	島尾 明良	義富 博正	佐藤由紀代	大坂 昌代
大久保 怜				

デザイン

[審査員] 杉崎真之助

[特別出品] 福井 章 田中 一郎

[招待] 斎藤 繁次 坂野美恵子 敷島のり子 斎藤 剛 四十宮隆志

[特選] 沢口 功 (徳島新聞社長賞)
半田 成葉

[準特選] 斎藤志津子 田中見那美 佐藤あすか

[奨励賞] 相原 佑香 松島 早紀 岡田 典子

[入選]	吉村 敏嗣	林 敏雄	田村 あい ⁽²⁾	岩井 雄大 ⁽²⁾	高井 奈穂
	沢口 功	南 絵里佳	山野井宏宗	齊藤 理菜	住友 亜美
	森 風斗	江渚サーシャ	武林 莉杏	橋場 怜央	堀川めぐみ
	三木理紗子	半田 成葉	栗飯原 稜	中西 絢樹	西尾 歩未

坂賀 泉美 齋藤 信子 岡田 典子 山崎 百絵

第 72 回徳島県美術展出品・入選等状況

部門 区分		日本画	洋 画	写 真	彫 刻	美術工芸	書 道	デザイン	計
出 品 点 数		44	262	714	25	135	794	57	2,031
出 品 者 数		43	222	209	23	97	470	42	1,106
入 賞 ・ 入 選	特 別 賞	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(1)	(7)
	特 選	2	3	4	1	2	8	2	22
	準特選	3	6	9	2	4	14	3	41
	奨励賞	3	5	8	2	3	13	3	37
	入 選 数	18	135	106	10	72	330	26	697
	計	26	149	127	15	81	365	34	797
	入 選 率	59.0	56.8	17.7	60.0	60.0	46.0	59.6	39.2
選 外	落 選 数	18	113	608	10	54	420	23	1,246
	落 選 率	41.0	40.5	82.3	40.0	40.0	53.2	40.4	60.8
無 審 査 出 品	特別出品	2	2	2	3	3	2	2	16
	招 待	6	3	18	4	6	34	5	76
	無 鑑 査	2	2	2	1	1	4	0	23
	賛助出品	1	3	0	1	2	1	0	8
	遺作出品	0	0	0	0	0	3	0	3
計		11	10	22	9	12	44	7	115
展示数		37	159	149	24	93	409	41	912

第 72 回徳島県美術展公募規定

区分	部門	日本画	洋 画	写 真	彫 刻
搬入日		9月24日(日)	9月23日(土)	10月1日(日)	9月24日(日)
搬入場所		あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室			
審査日		9月24日(日)	9月24日(日)	10月1日(日)	9月24日(日)
審査員		村岡貴美男	森本 勇	大西みつぐ	國安 孝昌
出品料		協会員1点目 3,500 円 その他の方 4,500 円 高校生 2,500 円 2点目からはすべて 1,500 円			
出品制限・大きさ・仕上げ		・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない 最小が額縁の幅を除いた画面の縦横の長さが70.0センチメートル×47.0センチメートル以上で、最大が額縁の幅を含めた縦横の一边の長さが190.0センチメートル以内、堅牢なるパネル等を使用の上、額装とする。パネル等の裏面には吊り紐をつけること。パネルや画面が額より出ないこと。 20号～60号までとする。S型は30号までを上限とし、版画は10号以上とする。 額・吊り紐は必ず付け、保管・展示等に支障がない作品とすること。 単写真、組写真とも半切およびA3から全倍サイズ。 画面の長辺は40cm以上90cm以内。スクエアサイズ(正方形)は一边が30cm以上50cm以内。 組写真は1パネル(90cm×180cm以内)に全作品を固定。 作品は必ずパネル貼りし、額装はしないこと。(ガラス、アクリル装着、金属、プラスチック、木材などによる枠取り不可) 高さ2×幅1.82×奥行1.5以内、重量200kg以内(上記サイズを超える作品は屋外展示とする)。材料等は自由、展示可能な作品に限ります。			
入 賞		特 選 2点 特別賞 1点 準特選 3点 奨励賞 3点	特 選 3点 特別賞 1点 準特選 6点 奨励賞 5点	特 選 4点 特別賞 1点 準特選 9点 奨励賞 8点	特 選 1点 特別賞 1点 準特選 2点 奨励賞 2点

区分	部門	美術工芸	書 道	デザイン
搬入日		9月24日(日)	9月29日(金)	10月1日(日)
搬入場所		あわぎんホール(県郷土文化会館)3階展示室		
審査日		9月24日(日)	9月30日(土)	10月1日(日)
審査員		若山 裕昭	新井 光風・村上 俄山・室井 玄尊	杉崎真之助
出品料		協会員1点目 3,500 円 その他の方 4,500 円 高校生 2,500 円 2点目からはすべて 1,500 円		
出品制限・大きさ・仕上げ		・未公開作品に限る ・写真部門は1人5点まで、その他の部門は点数に制限なし ・高校生以上とし、小・中学校在学者は出品できない ・立体作品は、50cm立方換算以内(たて×よこ×おくゆきが125,000立方cm以内)とする。 但し、たて100cm・よこ100cm・おくゆき100cm以内とする。 ・平面作品は、150cm平方換算以内(たて×よこが22,500平方cm以内)とする。 但し、たて180cm・よこ150cm以内とする。 木、竹、金工、陶磁、漆、染色、織物、人形、ガラス等とし、展示できる用具を必ずつけることとする。 半切又は全紙1/2以上、仕上がり面積1.47㎡(16平方尺)以内で縦・横自由。 巻子・帖は40㌘×300㌘以内。 篆刻は印影とし、タテ39㌘×ヨコ30㌘以内の額装に限る。 (例) 61㌘(2尺)×242㌘(8尺) 枠張りに限る 79㌘(2.6尺)×181㌘(6尺) " 91㌘(3尺)×161㌘(5.3尺) " 121㌘(4尺)×121㌘(4尺) " 半切・全紙1/2・迎落まで額装アクリル入りでもよい。 無鑑査以上の出品者は半切・全紙1/2以内、横幅90㌘以内とする。 次の部門に属する作品とする ①漢 字(臨書不可)・篆刻(模刻不可) ②仮 名(臨書不可) ③近代詩文書 ④前 衛(文字を表現したもの) それぞれ釈文をつけることとする。 B1サイズ(728×1,030^{5/8})で厚さ5～75^{3/4}、外枠(幅20^{5/8}以内)を含めた重さが5kg以内とする。 グラフィックデザインとし、原画の材質は問わないが、ガラス額装は不可。 実在の商品名、会社名等は不可とし、著作権・肖像権に触れないこと。 吊り紐をつけることとする。		
入 賞		特 選 2点 特別賞 1点 準特選 4点 奨励賞 3点	特 選 8点 特別賞 1点 準特選 14点 奨励賞 13点	特 選 2点 特別賞 1点 準特選 3点 奨励賞 3点

徳島県美術展審査員一覧

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46回まで彫刻)
1		委 員	野 間 仁 根	委 員	
2		大 栗 旌 仟	野 間 仁 根	上 田 備 山	太 坂 田 三 郎 美
3		委 員	伊 原 宇三郎	同 上	太 坂 田 三 郎 美 鹿 内 三 芳 洲
4		委 員	須 田 国太郎	同 上	同 上
5		上 村 松 篁	田 村 孝之介	小 野 由 行	太 坂 田 三 郎 美
6		西 山 英 雄	伊 藤 継 郎	川 崎 亀太郎	同 上
7		山 口 華 楊	田 川 勤 次	棚 橋 紫 水	新 田 藤太郎
8		池 田 遙 村	須 田 剋 太	同 上	太 坂 田 三 郎 美
9		水 田 竹 圃	小 出 卓 二	同 上	同 上
10		管 楯 彦	鈴 木 信太郎 野 間 仁 根	同 上	同 上
11		奥 村 厚 一	井 上 長三郎	岩 宮 武 二	同 上
12		浜 田 観	福 沢 一 郎	棚 橋 紫 水	同 上
13		小 松 均	藤 井 令太郎	同 上	辻 東 三 郎 美
14		秋 野 不 矩	針 生 一 郎	岩 宮 武 二	針 生 一 郎
15		奥 村 厚 一	向 井 潤 吉	棚 橋 紫 水	管 沼 五 郎
16		同 上	吉 原 治 良	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
17		松 尾 冬 青	中 谷 泰	同 上	向 井 良 吉
18		矢 野 鉄 山	池 島 勘治郎	同 上	安 田 周三郎
19		中 村 貞 以	森 芳 雄	堀 内 初太郎	堀 内 正 和
20		曲 子 光 雄	桂 ユキ子	岩 宮 武 二	植 木 茂
21		沢 野 文 臣	伊 谷 賢 藏	同 上	佐 藤 忠 良
22		堂 本 阿岐羅	村 井 正 誠	同 上	辻 晋 堂
23		松 岡 政 信	山 下 大五郎	同 上	井 上 武 吉
24		山 崎 忠 明	大 沢 昌 助	棚 橋 紫 水	菊 池 一 雄
25		奥 村 厚 一	斉 藤 真 成	同 上	原 武 典
26		梶 喜 一	島 村 三七雄	同 上	掛 井 五 郎
27		上 原 卓	高 田 誠	伊 藤 知 己	松 村 外次郎
28		黒 光 茂 樹	中 間 冊 夫	岩 宮 武 二	小 畠 広 志
29		松 岡 政 信	島 田 章 三	同 上	保 田 春 彦
30		黒 光 茂 樹	田 中 岑	岩 宮 武 二	篠 崎 明 雄
31		河 合 健 二	田 中 忠 雄	同 上	江 口 週
32		長谷川 青 澄	山 口 長 男	岩 宮 武 二	一 色 邦 彦
33		松 岡 政 信	吉 井 忠	岩 宮 武 二	柳 原 義 達
34		山 岸 純	小 西 保 文	岩 宮 武 二	清 水 九兵衛
35		樋 笠 数 慶	荻 太 郎	同 上	桜 井 祐 一
36		坂 口 麻沙子	吉 井 淳 二	岩 宮 武 二	土 谷 武

美術工芸	書 道	デザイン (37 回まで商業美術)
鬼塚 信之	委 員	
同 上	田 中 白 村	
同 上	炭 山 南 木	
同 上	炭 山 南 木 ・ 織 田 子 青	
同 上	手 島 右 卿	
鬼塚 信之 新田 藤太郎	同 上	
鬼塚 信之	小 坂 奇 石	
明 石 朴 景	辻 本 史 邑	
会 田 裕 宣	織 田 子 青 (漢) ・ 出 口 草 露 (仮)	
鴨 政 雄	松 井 恕 流	
近 藤 悠 三	荒田 井中 天双 鶴・後藤 藤中 泰 秀・後藤 田中 香 石 田 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤 田中 香 石	
平 松 宏 春	同 上	
同 上	荒田 井中 天双 鶴・後藤 藤中 泰 秀・後藤 田中 香 石 田 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤 田中 香 石	
大 西 忠 夫	荒田 井中 天双 鶴・後藤 藤中 泰 秀・後藤 田中 香 石 田 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・後藤 田中 香 石	
明 石 朴 景	同 上	
平 松 宏 明	同 上	
大 西 忠 夫	同 上	
鴨 政 雄	同 上	
平 松 宏 春	同 上	
内 田 邦 夫	同 上	
山 脇 洋 二	同 上	
槻 尾 宗 一	同 上	
山 脇 洋 二	荒田 井中 天双 鶴・後藤 藤中 泰 秀・田中 栢 翠 田 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・田中 栢 翠	
藤 本 能 道	同 上	
三 井 安 蘇 夫	同 上	金 野 弘
六 角 颯 雄	同 上	大 智 浩
鈴 木 貫 爾	同 上	早 川 良 雄
田 村 耕 一	同 上	原 弘
山 脇 洋 二	荒田 井中 天双 鶴・後藤 藤中 泰 秀・田中 双 鶴 田 井 天 鶴・後 藤 泰 秀・田中 双 鶴	田 中 一 光
浅 野 陽	同 上	奥 野 秀 雄
前 田 泰 次	同 上	灘 本 唯 人
山 脇 洋 二	同 上	大 高 猛
中 村 光 哉	荒田 井中 天双 鶴・久保 幽 香・新 崎 泰 泉・田中 双 鶴 田 井 天 鶴・久保 幽 香・新 崎 泰 泉・田中 双 鶴	福 田 繁 雄
山 脇 洋 二	同 上	永 井 一 正
田 村 耕 一	荒田 井中 天双 鶴・田中 栢 翠 田 井 天 鶴・田中 栢 翠	山 城 隆 一

回数	部門	日 本 画	洋 画	写 真	彫 刻 (46 回まで彫製)
37		下 田 義 寛	野見山 暁 治	同 上	山 本 正 道
38		同 上	須 田 寿	高 田 誠 三	清 水 九兵衛
39		同 上	斉 藤 真 一	同 上	城 田 孝一郎
40		下 保 昭	津 高 和 一	嵩 富 蔵 三	清 水 良 治
41		橋 田 二 朗	小松崎 邦 雄	奈良原 一 高	淀 井 敏 夫
42		松 本 哲 男	国 領 經 郎	岩 宮 武 二	木 津 一 夫
43		山 岸 純	利根山 光 人	三 木 淳	橋 本 省
44		平 川 敏 夫	赤 穴 宏	高 田 誠 三	山 崎 猛
45		福 井 爽 人	桜 井 寛	三 木 淳	土 谷 武
46		岩 沢 重 夫	大 森 朔 衛	同 上	峯 田 敏 郎
47		穂 田 一 稗	谷 本 重 義	立 木 義 浩	小 島 弘
48		田 淵 俊 夫	大 沼 映 夫	杵 島 隆	建 畠 覚 造
49		中 路 融 人	馬 越 陽 子	同 上	綿 引 道 郎
50		下 田 義 寛	三 栖 右 嗣	奈良原 一 高	古 島 実
51		工 藤 甲 人	中 根 寛	斉 藤 康 一	恩 田 静 子
52		那波多目 功一	松 樹 路 人	細 江 英 公	石 井 厚 生
53		那 須 勝 哉	藤 田 吉 香	高 田 誠 三	香 浦 有 爾
54		内 田 あぐり	奥 谷 博	同 上	小 林 陸一郎
55		松 尾 敏 男	佐々木 豊	大 石 芳 野	日 原 公 大
56		山 崎 隆 夫	大 津 英 敏	同 上	石 黒 鏑 二
57		岩 本 和 夫	山 本 貞	細 江 英 公	原 武 典
58		大 矢 紀	福 島 瑞 穂	江 成 常 夫	菅 原 二 郎
59		竹 内 浩 一	中 山 忠 彦	大 石 芳 野	米 林 雄 一
60		小 嶋 悠 司	絹 谷 幸 二	江 成 常 夫	北 郷 悟
61		宮 廻 正 明	山 本 文 彦	同 上	鈴 木 久 雄
62		能 島 和 明	島 田 鮎 子	英 伸 三	中 垣 克 久
63		雲丹亀 利 彦	桜 井 寛	田 沼 武 能	林 武 史
64		西 田 俊 英	塗 師 祥一郎	同 上	津 田 裕 子
65		岡 村 倫 行	金 山 佳 子	三 好 和 義	建 畠 朔 弥
66		宮 いつき	大 津 英 敏	江 成 常 夫	深 井 隆
67		小 山 硬	笠 井 誠 一	大 石 芳 野	湯 村 光
68		土 屋 禮 一	佐 藤 泰 生	大 石 芳 野	保田井 智 之
69		上 村 淳 之	池 田 清 明	織 作 峰 子	村 井 進 吾
70		中 島 千 波	堀 研	江 成 常 夫	三 沢 厚 彦
71		中 野 嘉 之	久 野 和 洋	三 好 和 義	木 戸 修
72		村 岡 貴美男	森 本 勇	大 西 みつぐ	國 安 孝 昌

美術工芸	書 道	デザイン (37回まで商業美術)
田 村 耕 一	荒富井天眉鶴・田中岡双鶴・田中栢翠	栗 津 潔
山 下 恒 雄	荒富井永天眉鶴・田中双鶴・田中栢翠	田 中 一 光
同 上	同 上	長 友 啓 典
浅 野 陽	荒井天鶴・久保幽香・鹽岐泰泉・春藤大歌・高原清泉 田中双鶴・田中栢翠・長江清幽・新居藍州・西岡楚峰	亀 倉 雄 策
中 村 光 哉	明 石 春 浦 ・ 坪 井 正 庵	伊 藤 憲 治
浅 野 陽	桜 井 琴 風 ・ 黒 野 清 宇	サイトウ・マコト
山 下 恒 雄	大 岡 皓 崖・山 田 伍 雲・西 野 象 山	佐 藤 晃 一
三 浦 小平二	花 田 峰 堂・小 山 素 洞・東 地 滄 厓	河 北 秀 也
松 永 勲	浅 見 綿 龍・森 本 妙 子・加 藤 大 碩	松 永 真
山 下 恒 雄	近 藤 摂 南・東 山 一 郎・中 野 北 溟	浅 葉 克 己
島 田 文 雄	谷 村 意 齋・植 村 和 堂・太 田 義 久	勝 井 三 雄
大 西 長 利	安 原 皐 雲・池 田 桂 鳳・金 子 卓 義	五十嵐 威 暢
山 下 恒 雄	鈴 木 桐 華・西 本 支 星・金 子 聰 松	青 葉 益 輝
島 田 文 雄	尾 崎 邑 鵬・井 茂 圭 洞・大 井 錦 亭	松 永 真
中 井 貞 次	栗 原 蘆 水・榎 倉 香 邨・種 谷 扇 舟	安 西 水 丸
栗 木 達 介	甫 田 鷄 川・小 山 やす子・石 飛 博 光	U. G. サトー
宮 田 亮 平	杭 迫 柏 樹・藤 木 正 次・吉 田 成 堂	早 川 良 雄
松 永 勲	津 金 孝 邦・池 田 桂 鳳・松 永 暘 石	戸 田 正 寿
竹 内 順 一	田 中 節 山・村 上 俄 山・黒 田 玄 夏	杉 浦 康 平
栗 木 達 介	宮 崎 葵 充・赤 江 華 城・金 子 卓 義	秋 山 孝
中 井 貞 次	星 弘 道・宮 重 小 蘭・西 野 象 山	遠 藤 享
島 田 文 雄	吉 川 蕉 仙・清 水 透 石・作 田 英 嗣	中 村 誠
竹 内 順 一	岩 井 韻 亭・光 宗 道 子・大 井 錦 亭	小 島 良 平
宮 田 亮 平	伊 藤 天 游・井 茂 圭 洞・田 岡 正 堂	永 井 一 正
島 田 文 雄	稲 垣 菰 圃・横 山 煌 平・船 本 芳 雲	新 島 実
増 村 紀一郎	樽 本 樹 邨・東 山 一 郎・辻 元 大 雲	三 木 健
石 川 充 宏	真 神 巍 堂・前 島 泉 洲・長谷川 牧 風	松 井 桂 三
竹 内 順 一	鈴 木 春 朝・山 本 高 邨・砂 本 杏 花	河 北 秀 也
山 下 了 是	大河内 仙 嶽・師 田 久 子・飯 高 和 子	勝 井 三 雄
大 樋 年 朗	土 井 汲 泉・舟 尾 圭 碩・百 瀬 大 蕪	佐 藤 晃 一
宮 田 亮 平	西 村 自 耕・岩 永 栖 邨・西 野 象 山	新 村 則 人
豊 福 誠	今 村 桂 山・横 山 煌 平・森 本 龍 石	福 島 治
若 山 裕 昭	渡 部 清・田 頭 一 舟・鈴 木 まつ子	秋 山 孝
山 下 義 人	鬼 頭 墨 峻・吉 川 美恵子・小 竹 石 雲	伊 藤 豊 嗣
中 井 貞 次	西 嶋 慎 一・山 根 互 清・渡 部 會 山	松 下 計
若 山 裕 昭	新 井 光 風・村 上 俄 山・室 井 玄 聳	杉 崎 真之助

徳島県美術展開催運営要項

第1条（名称・開催目的）

本展は徳島県美術展「以下（県展）という」と称し、広く県民から個性と創造性豊かな美術作品を公募し、審査員による公開審査により優秀な作品を選び、展示表彰することにより県内美術愛好家の制作意欲の活性化をはかり、一方県民に郷土の優れた美術鑑賞の機会を提供することにより本県の芸術文化の発展振興に寄与することを目的とする。

第2条（主催団体）

県展は徳島県美術家協会と徳島新聞社の共催により開催する。

第3条（開催運営の組織）

県展を開催運営するため、基本事項を審査決定する「県展運営委員会」と、主として準備計画を進める「県展事務局」で構成する。運営委員、事務局員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

【県展運営委員会】

運営委員会のメンバーは、県美術家協会の会長、副会長2名及び各部会から2名、徳島県から1名、徳島新聞社から2名の合計20名でこれを構成する。運営委員の中から運営委員長1名、運営副委員長2名を選任する。運営委員長は運営委員会を統括し次の業務を行う。

1. 開催運営の基本事項について審議決定すること。
2. 審査員の推薦決定に関すること。
3. 審査方法、表彰に関すること。
4. 収支予算、決算の承認に関すること。
5. その他県展開催に必要なこと。

【県展事務局】

事務局を徳島市中徳島町2丁目5番地の徳島新聞社企画事業部内に置く。

事務局のメンバーは、県美術家協会事務局1名、徳島新聞社3名の計4名で構成する。事務局の中から事務局長1名を選任し、次の業務を行う。

1. 出品規定、応募要項、入場券、ポスター、チラシ、図録等の印刷、受付、配布、販売等に関すること。
2. 会場、会期、審査、搬入、搬出、運営全般の下準備に関すること。
3. 審査員候補の下交渉、配宿、航空券の手配、審査日時、場所、接遇等に関すること。
4. 収支予算案の作成に関すること。
5. 開会式、表彰式の準備に関すること。
6. 広報PRに関すること。
7. その他県展開催の下準備に関すること。

第4条（出品部門）

県展の出品部門は、日本画、洋画、写真、彫刻、美術工芸、書道、デザインの7部門とする。

第5条（展示作品）

県展において展示する作品は、前条に掲げる7部門の中から次の作品とする。

1. 一般公募作品の中から主催者が委嘱する審査員の審査を経て入選した作品及び招待、無鑑査、特別出品の作品を展示する。その他の作品については運営委員会の議を経て展示する。

2. 招待、無鑑査、特別出品については次の規定による。

◇次のものを招待とする。

- (1) 無鑑査出品を3回以上得たもの。

◇次のものを無鑑査とする。

- (1) 特選を連続3回得たもの。
- (2) 年間を問わず特選を4回得たもの。
- (3) 年間を問わず特選及び準特選を6回得たもの。（特選1回準特選5回、特選2回準特選4回、特選3回準特選3回、準特選6回の場合とする）
- (4) 無鑑査出品者にして、特選または準特選を得たもの。

◇次のものを特別出品とする。

- (1) 県美術家協会の会長、副会長、顧問、名誉会長、参与、審査員及び各部の会長、顧問、参与。
- (2) 各部の会長を永年勤めて実績があり運営委員会の議を得たもの。

（注）① 招待及び無鑑査出品者が出品しない場合は、運営委員会で認められた事由がない限りその資格を失うものとする。

- ② 17回展までの奨励賞は準特選と同値とする。

第6条（審査員）

審査員は県外審査員とする。審査員の選任は県美術家協会から一定数の人数を推薦し、この中から事務局で選任作業を行い、運営委員会の議を経て決定する。

第7条（審査）

審査は公開により行う。

第8条（入選、入賞数）

1. 入選、入賞数は作品の出品数の増減により多少変動する場合があるが、原則として次の範囲内に止める。

区 分	特 選	特別賞（特選の中から1点）	準特選	奨励賞	入 選
日 本 画	2	四 国 放 送 社 長 賞	3	3 以内	規定数
洋 画	3	徳 島 県 美 術 家 協 会 長 賞	6	5 "	"
写 真	4	徳 島 県 知 事 賞	9	8 "	"
彫 刻	1	徳 島 県 議 会 議 長 賞	2	2 "	"
美術工芸	2	徳島県教育委員会教育長賞	4	3 "	"
書 道	8	徳 島 市 長 賞	14	13 "	"
デザイン	2	徳 島 新 聞 社 長 賞	3	3 "	"

※特別賞は各部門の中から最優秀作品1点に対し贈られるものです。

賞はいずれも同格で毎年部門により一つずつ変更し賞を贈ります。

2. 入賞は1部門1人1賞とする。

第9条（表 彰）

県展の入選、入賞者を次の通り表彰する。

1. 特 選……賞状、賞金
2. 準特選……賞状、賞金
3. 奨励賞……賞状、記念品
4. 入 選……全員に賞状

なお、特選に入賞した作品の中から特に優れた作品について次の特別賞を贈る。

1. 徳島県知事賞 1名
2. 徳島県議会議長賞 1名
3. 徳島県教育委員会教育長賞 1名
4. 徳島市長賞 1名
5. 徳島新聞社長賞 1名
6. 四国放送社長賞 1名
7. 徳島県美術家協会会長賞 1名

◎特別賞の選考方法については別に定めるものとする。

第10条（収支予算）

県展の開催、運営に要する経費は次のものをあてる。

1. 出品料
2. 入場料
3. 図録売り上げ代金及び広告料
4. 各種補助金

5. その他

県展の支出経費は事務局長の承認を経て行い、必ず証票をとり、毎年 12 月に決算を行い、運営委員会に報告し承認を得るものとする。

第 11 条（出品料・協賛費）

県展の出品料及び協賛費は次の通りとする。

1. 県美術家協会会員の出品料は、1 点目 3,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
2. 一般の方の出品料は、1 点目 4,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
3. 高校生の出品料は、1 点目 2,500 円、2 点目から 1 点につき 1,500 円とする。
4. 招待、無鑑査、特別出品者及びその他審査を受けない者の協賛費は 1 点 3,500 円とする。

第 12 条（入場料）

県展の入場料は次の通りとする。

- | | | |
|-----------|-----------|----------|
| 1. 一般・大学生 | 前売り 600 円 | 当日 800 円 |
| 2. 高校生 | | 当日 300 円 |

第 13 条（附 則）

本要項の規定は昭和 61 年 9 月から実施する。

本要項の改訂、修正は運営委員の 3 分の 2 以上の議決を経てこれを行うものとする。

平成 4 年 2 月 22 日 一部改正
平成 4 年 5 月 16 日 一部改正
平成 8 年 5 月 25 日 一部改正
平成 11 年 5 月 14 日 一部改正
平成 13 年 5 月 30 日 一部改正
平成 14 年 9 月 25 日 一部改正
平成 17 年 6 月 14 日 一部改正
平成 18 年 4 月 11 日 一部改正
平成 23 年 2 月 20 日 一部改正
平成 24 年 2 月 24 日 一部改正
平成 25 年 8 月 20 日 一部改正
平成 26 年 8 月 6 日 一部改正

第13回徳島県こども美術展



第13回徳島県こども美術展出品・入選等状況

会 期 10月13日(金)～10月17日(火)

会 場 あわぎんホール(徳島県郷土文化会館)

入場者数 大人 1,833人 こども 895人 計 2,728人

出品・入選等状況

【絵画部門】

種 別		一 般 展 出 品							特 別 企 画 展 出 品					
学 年		作品数	特選 (特別賞を 含む)	準特選	優秀賞	入選	入賞入選 合計	入選率 (%)	作品数	特別賞	優秀賞	入選	入賞入選 合計	入選率 (%)
		総数 (特別支援)							総数 (特別支援)					
小 学 生	1 年	514 (0)	2	2	39	48	91	17.70	69 (5)	1	6	9	16	23.19
	2 年	491 (2)	2	2	36	52	92	18.74	73 (1)	1	7	8	16	21.92
	3 年	497 (2)	2	2	39	46	89	17.91	78 (0)	1	8	8	17	21.79
	4 年	412 (2)	2	2	33	34	71	17.23	57 (0)	1	6	6	13	22.81
	5 年	388 (1)	2	2	27	34	65	16.75	53 (2)	1	5	5	11	20.75
	6 年	351 (0)	2	2	28	32	64	18.23	55 (3)	1	6	9	16	29.09
中 学 生	1 年	174 (5)	2	2	12	17	33	18.97	39 (3)	1	5	5	11	28.21
	2 年	195 (7)	2	2	19	19	42	21.54	41 (2)	1	6	7	14	34.15
	3 年	115 (4)	2	2	10	11	25	21.74	14 (3)	1	2	2	5	35.71
計		3,137 (23)	18	18	243	293	572	18.23	479 (19)	9	51	59	119	24.84

【書写部門】

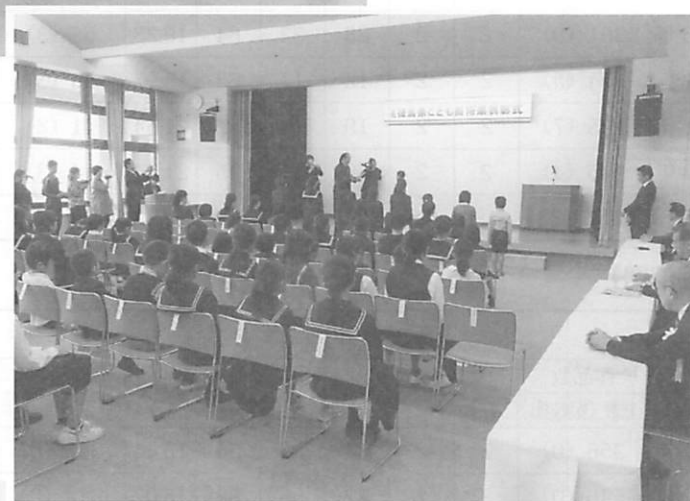
種 別		一 般 展 出 品							特 別 企 画 展 出 品					
学 年		作品数	特選 (特別賞を 含む)	準特選	優秀賞	入選	入賞入選 合計	入選率 (%)	作品数	特別賞	優秀賞	入選	入賞入選 合計	入選率 (%)
		総数 (特別支援)							総数 (特別支援)					
小 学 生	1 年	356 (0)	2	2	14	37	55	15.45	306 (0)	1	8	13	22	7.19
	2 年	546 (0)	2	2	22	56	82	15.02	614 (0)	1	17	26	44	7.17
	3 年	927 (1)	2	2	37	94	135	14.56	792 (0)	1	21	34	56	7.07
	4 年	731 (0)	2	2	29	75	108	14.77	538 (0)	1	14	23	38	7.06
	5 年	655 (0)	2	2	26	66	96	14.66	697 (1)	1	19	30	50	7.17
	6 年	636 (1)	2	2	25	65	94	14.78	677 (0)	1	18	29	48	7.09
中 学 生	1 年	323 (1)	2	2	13	34	51	15.79	270 (1)	1	8	12	21	7.78
	2 年	234 (0)	2	2	10	25	39	16.67	215 (0)	1	6	10	17	7.91
	3 年	208 (0)	2	2	10	22	36	17.31	154 (0)	1	4	7	12	7.79
計		4,616 (3)	18	18	186	474	696	15.08	4,263 (2)	9	115	184	308	7.22

※県南巡回展(阿南市) 11月11日(土) 12日(日)

※県西巡回展(美馬市) 11月25日(土) 26日(日)

※県庁内(1部)展示 12月1日(金)～24日(日)

各部記録



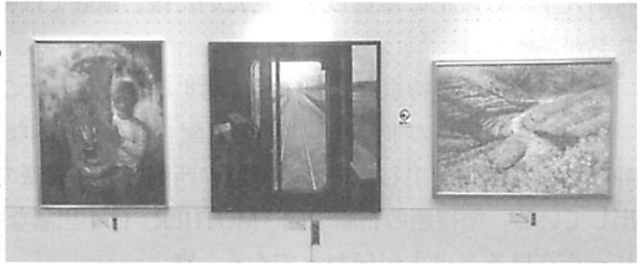
日 本 画 部

部 会 長 岡 英彦

年間展望

◎第 25 回放美展（5月2日～5月6日 あわぎんホール）

応募点数は 30 点で、昨年よりも 8 点増え、意欲的な作品が多かった。その中から入選 17 点、入賞 5 点、計 22 点を選んだ。審査は 3 名の審査員の投票制で行い、賞については、審査員の合議により選出した。放美賞の大山和輝さん「離郷」は列車の最後尾から遠ざかる風景を大胆な構成と細密な表現で描かれており、群を抜いた作品で作者の感覚的な鋭さを感じた。優秀賞の天羽弘毅さん「棚田の春」は自愛に満ちた作品。西岡ちほさん「響」は楽器を練習している少年を感受性豊かに表現していて、好感が持てる。この度、無鑑査となった。25 周年記念賞の中川敬さん「月華美人」は技術の高さがうかがえる。四国大学賞の濱崎夢さん「優美」は夜桜を繊細で優美に描き、空気や時間が感じられる。惜しくも選に漏れた作品の中にも作者の主張を感じさせるものが多かった。作者の思いが伝わってくる力強い作品を期待したい。ギャラリートークでは、40 名あまりの聴講者があり、受賞者と入選者に作品説明をしてもらい、審査員 2 名（岡、土方）がそれぞれの作品について解説した。



審査員（岡英彦・土方み子・中西芳雄）

◎第 58 回新作日本画展（6月22日～6月25日 阿波銀プラザ）

この展覧会は、春の放美展、秋の県展の間において、入落に関係なく思い切った作品を出品することができ、それが日本画人口を増やすことになるという思いで再開され、3 年目を迎



えた。意欲あふれる魅力的な作品が 65 点出品され、3 日間で 419 名の来場者があり、展覧会期間中に懇親会も開催された。なお、次回展より隔年（2 年）開催となり、第 59 回展は 2019 年 6 月開催の予定。

新作大賞	「イノセント（純粹）」	井上美恵子
新 作 賞	「山里の樹」	植田 忠生
	「行く秋」	大栗美和子
	「日々」	梶浦 千瑞
	「春」	木原 典子
優 秀 賞	「葉牡丹」	有持 廣子
	「月華美人」	中川 敬
	「よつ葉どこ？」	富永 博子
	「カンナ」	水田 貴子
	「奏でる」	久保 守近

◎第 72 回徳島県美術展（10 月 6 日～ 11 日 あわぎんホール）

今回の審査は、日本美術院同人の村岡貴美男先生にお願いした。応募点数は 44 点で、その中から特別賞（四国放送社長賞）1、特選 1、準特選 3、奨励賞 3 を含む入選 26 点を選んだ。村岡先生には厳正に審査していただいた後、講評では特に構図や岩絵具の表現技法についてのお話があった。

また、特選、準特選などの作品に関する審査評は次のようなものであった。

四国放送社長賞の平野真里「朝の気配」は、意欲的な大作でシンメトリーの構図になっており、静ひつな雰囲気を出している。特選の西岡ちは「薔薇の守人」は、画面の空間が物語性を生み出している。準特選の石原千鶴「MOTHER」は不思議な物語性がある。石動智子「永久に…」は、じっくり見ると良さが伝わってくる。富永博子「迷いの森」はポピーの花がとても美しく、たくさんの色をのせることに成功した。

出品作品はどれも特徴や面白みがあり、しっかりと描かれた絵が多かった。個性を強調した作品を目指してほしい。



会員消息 （県展・放美展・新作日本画展関係は除く。月別。）

1 月	陶芸・日本画・写真 三人展	ギャラリー谷口	中川敬
2 月	第 45 回徳島市芸術祭美術展	シビックセンターギャラリー	
		土方喜美子（特別出品）・鈴木恵子（招待）	
		久保守近	
3 月	第 57 回日本南画院展（東京展）	国立新美術館	藤井瑞雲（同人）
	日本美術家連盟 四国地区会員展	あわぎんホール	中川敬

4月	第1回新日春展	東京都美術館	土方るみ子
	ツーバイツ展	阿波銀プラザ	斎藤久代
	第57回日本南画院展（大阪展）	大阪市立美術館	藤井瑞雲（同人）
5月	第56回阿南市美術展	阿南市文化会館	長谷壽・植田忠生
	第53回溪生社水墨画展	あわぎんホール	久保守近
	第8回徳島女流美術展	あわぎんホール	
	石原千鶴・斎藤久代・土井洋子・柳田一子・土方喜美子・土方るみ子		
6月	鈴木恵子日本画展花ごよみ（6月）	阿波銀行福島支店	鈴木恵子
	日本美術家連盟 第11回美術家連盟新会員奨励展'17		
		美術家連盟画廊	中川敬
	女子美術大学同窓会 100周年記念	シビックセンターギャラリー	
			土井洋子・森本秀代
	京都日本画家協会展 第五期展	京都府京都文化博物館	土方るみ子
7月	土方喜美子日本画グループ展	アミコ市民ギャラリー	久保守近
	第76回世代美術展	阿波銀プラザ	中川敬
8月	全国公募 第1回日美展	国立新美術館	久保守近
9月	山川公民館サロン展	山川地域総合センター	藤井吉信
10月	第48回津田美術展	徳島市新浜交流センター	西野和男
	第75回日本画有秋会展	大阪市立美術館	藤井瑞雲
11月	第13回吉野川市文化祭	川島町体育館	藤井吉信
	水墨画個展	千葉県流山市ギャラリー	平左衛門
			久保守近
	阿波銀行福島支店 フロア展	阿波銀行福島支店	中川敬
	第46回阿南市文化祭美術展	阿南市文化会館	長谷壽・植田忠生
	改組新第4回日展	国立新美術館	土方るみ子
	平成29年阿南市福井町文化祭	福井町総合センター	長谷壽
	佐古コミセン文化祭	佐古コミュニティセンター	
			久保守近
	川真田哲雄日本画ロビー展	吉野川市文化研修センター	
			川真田哲雄
	第20回溪生社水墨画小品展	阿波銀プラザ	久保守近
12月	田野全国水墨画展	田野町ふれあいセンター	久保守近
	山川公民館祭	山川地域総合センター	藤井吉信
	第14回馬競芸術大賞展	すみだリバーサイドホールギャラリー	
			久保守近
	改組新第4回日展京都展	京都市美術館別館	土方るみ子
	第46回歳末チャリティー作品・色紙即売展	そごう徳島店 6階	
			岡英彦・土方るみ子・土方喜美子・中川敬

洋 画 部

部 会 長 平 木 美 鶴

年間展望

◎第 25 回放美展 会期：5 月 2 日～5 月 6 日 場所：あわぎんホール

受付人数は、135 人、出品数 148 点中 92 点の入選（入賞を含む）、入選率は 62%。審査員は、嵯峨潤三、平木美鶴、伊勢浩章。今年は、全体的に質が高く、厳選であったと思います。また、高校生を含む若い方に良い作品が目立っていました。放美賞の高校生、佐竹菜花さんの作品「離れきった愛」は、ドラマチックな物語性や茶系の基調色の美しい秀作でした。優秀賞は 6 名でした。その中で、高校生の鈴江空里子さんは昨年の放美賞に続き連続受賞で、昨年より一步進んだ表現力豊かな作品。鈴木敬子さんは、空と雲を大きく描き大らかな空間の清々しい作品。小笠原秋子さんは、材木の硬質な質感が良い、しっかりした観察眼のある作品。大学生の畑山綾太郎さんは、銅版画技法であるドライポイントの線が魅力的な作品。大久保由子さんは、とても色彩感覚の良い作品。杉村良典さんは、存在感のある作品。放美展 25 周年記念賞は、子供の生き生きとした表情が印象的な大久保佐智子さんの作品。四国大学賞は、高校生らしい完成が評価された坂東沙也加さんの作品でした。また、今回の受賞で鈴木敬子さんと小笠原秋子さんが無鑑査となりました。今回も 5 月 4 日に榊田務先生と平木で展示会場においてギャラリートークを開催しました。受賞者と入選者に作品説明をしてもらい、それに対して 2 人がコメントする形で進めました。80 名以上の参加者があり、みなさんの関心の高さを感じました。

◎第 31 回洋画部会員展 会期：7 月 6 日～7 月 9 日 場所：あわぎんホール

今回の会員の出品者数は 81 名（昨年より 14 名増）、入場者数は 370 名でした。会期中の 7 月 8 日にあわぎんホール 5 階会議室 6 において徳島県美術家協会の助成を受けて美術講演会を開催しました。講演者は平木美鶴、内容は平面作品の基本となる画面構成について視覚誘導という考え方による構成方法と効果の話でした。座席を 100 席準備していたのですが、112 名の参加があり盛況でした。このような講演会の効果もあり、現在会員数 132 名で昨年より 15 名増加したことは喜ばしいことです。更に、新たな企画を打ち出し会員展の充実を計りたいと思います。

洋画部会員展事務局は以下です。

中 央：伊勢浩章、遠藤誠一、黒崎志郎、嵯峨潤三、玉田秀子、露口敏幸、長尾弘久、

手塚てる子、西川周三、平木美鶴、榊田 務

北 部：越久高照、二條 均、田中シゲミ、島上二郎

南 部：佐藤敬子、中辻奈美枝、福良哲子

西 部：近藤克子、鈴木敬子、松川 寛

事務局：清水 博 会計：福良哲子 監事：佐藤敬子



美術講演会の会場風景

◎第 72 回県美術展 会期：10 月 6 日～10 月 11 日 場所：あわぎんホール

出品者数は 222 人、出品数 262 点中、149 点の入選（入賞も含む）で入選率は 56.8% でした。審査員は京都精華大学名誉教授、独立美術協会会員の森本勇先生をお迎えしました。全体評としては、質が高く、内容のある作品が多く、最後まで結果の予想がつかず楽しく審査することができたということでした。今回の審査では入選作から 41 点の賞候補を選び、そこから 14 点の受賞作が選ばれました。賞と候補の質の差はなく、どの作品が受賞してもおかしくなっていました。賞候補の記録をこれまで残していなかったのですが、今回から記録として残り、次回の励みとしてほしい思いから以下に賞候補者の氏名（受賞者は除く）を記します。

杉本祥子、林敏雄、赤木秀明、藤本千秋、久保和子、宮本典子、浅井清司、岩井千晴、山口明美、内田満、西川敬子、賀川紀美子、手塚てる子、藤本誠子、嵯峨潤三、浅野近男、犬伏美智子、後藤和子、答島和年、土橋正子、日野邦恵、石幸忠雄、宮内一子、長坂芳子、藤井博之、村上榮一、川口均



審査員の森本勇先生と洋画部委員



県展審査風景

会員の訃報

○2017.3 大西道夫氏

長年、洋画部委員として部の発展に尽くしていただきました。ご冥福をお祈りいたします。

会員消息 (県展・放美展を除く)

- 青木 幸子 第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、徳島アート21第15回展・第5回KENDO洋画グループ作品展(阿波銀プラザ)、東富田文化祭(東富田コミュニティセンター)
- 浅井 清司 第74回東光会徳島支部展・第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、第39回白鳳洋画グループ展・春,秋鳴門市展(キョーエイ鳴門駅前店)
- 東 紀美子 徳島アート21第15回展(阿波銀プラザ)、第56回阿南市美術展・第46回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)、第31回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 阿部 昌子 第48回土曜展(シビックセンター)、第73回青美展(あわぎんホール)、北井上文化祭(北井上公民館)
- 天田 弘行 第67回モダンアート展(都美術館)、第49回モダンアート徳島支部展(阿波銀プラザ)、第50回石井美術の会(阿波銀ホール)、関西モダンアート作家展(ニューオオサカホテル心斎橋)、第67回モダンアート奈良展(奈良県立美術館)
- 井沢 忠明 第2回青彩美術・あわ洋画ぐるうぶ合同展(シビックセンター)、加茂谷秋の文化祭(加茂谷公民館)
- 伊勢 浩章 徳島アート21第15回展(阿波銀プラザ)、第31回洋画部会員展・第34回平和美術展・第73回青美展(あわぎんホール)
- 乾 繁春 第77回美術文化展(都美術館)、同巡回展(愛知県美術館ギャラリー・兵庫県立美術館)、第27回美術文化徳島支部展・第76回世代美術展・第10回徳島絵画美学展(阿波銀プラザ)、高松水彩画美学展(NHK高松ロビーギャラリー)、第8回鳴門水彩美学展(キョーエイ鳴門駅前ギャラリー)、第1回AWA現代アート展招待作家出品(御所山王子現代アートスペース)
- 伊良原貞子 第77回美術文化展(都美術館)、同巡回展(愛知県美術館・兵庫県立美術館)、第27回美術文化徳島支部展・第76回世代美術展・第10回徳島絵画美学展(阿波銀プラザ)
- 岩井 千晴 アトリエ・マイン展(阿波銀プラザ)、岩井千晴展(キョーエイ鳴門駅前店ギャラリー)
- 宇高 桂子 第71回女流画家協会展(都美術館)、日本美術家連盟四国地区会員展・第8回徳島女流美術展(あわぎんホール)、女子美術大学同窓会創立100周年記念展(シビックセンター)、第1回AWA現代アート展(御所山王子現代アートスペース)、宇高桂子アクリル画展(田岡病院ギャラリー)
- 梅津美砂代 第45回徳島市芸術祭美術展・第48回土曜展(シビックセンター)、第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、まほろば夢くらぶ展(阿波銀プラザ)
- 遠藤 誠一 第15回徳島版画展(阿波銀プラザ)、第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、アワガミ国際ミニプリント展2017(阿波和紙会館)
- 大津 憲文 第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、第56回阿南市美術展・第46回阿南市文化祭美術展(阿南市文化会館)

- 大西利津子 第45回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第32回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 大西 文代 第34回青彩美術・第42回あわ洋画ぐるうぷ合同展（シビックセンター）
- 岡田 君代 第35回平和美術展・示現会徳島交流展・第31回洋画部会員展・第73回青美展（あわぎんホール）
- 越久 高照 第35回藍美展（藍住町福祉センター）、吉野川市藍住町文化協会洋画合同展（吉野川市文化研修センター）、油彩画三人展（キョーエイ鳴門駅前店4Fギャラリー）、第45回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第28回板野美術クラブ展（板野町文化の館）
- 加川由紀子 徳島アート21第15回展（阿波銀プラザ）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 河田 安市 第93回白日会展・改組第4回日展（国立新美術館）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 河本多恵子 徳島アート21第15回展・第5回KENDO洋画グループ作品展（阿波銀プラザ）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、国府文化祭（国府コミュニティセンター）
- 岸本 花子 第55回記念全展（都美術館）、全展網走支部展（網走文化交流センター）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、第40回八紅展（阿波銀プラザ）
- 北村 照子 第45回徳島市芸術祭（シビックセンター3Fギャラリー）、第40回八紅展（阿波銀プラザ）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、八万文化祭（八万公民館）
- 黒崎 志郎 第105回日本水彩展（都美術館）、第48回示現会徳島支部展（阿波銀プラザ）、第31回洋画部会員展・70周年記念示現会展巡回徳島展（あわぎんホール）、70周年記念示現会展・改組第4回日展（国立新美術館）、第45回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）
- 近藤 克子 改組第4回日展・第76回水彩連盟展（国立新美術館）、第83回東光展（都美術館）、第74回東光会徳島支部展・第31回洋画部会員展・第8回徳島女流美術展（あわぎんホール）、第76回世代美術展・第10回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 後藤ユリ子 第77回美術文化展（都美術館）、同神戸巡回展（兵庫県立美術館）、美術文化徳島支部展（阿波銀プラザ）、第31回洋画部会員展・第73回青美展（あわぎんホール）、八万文化祭（八万コミュニティセンター）、短歌と絵画の彩り展（シビックセンター）
- 嵯峨 潤三 徳島アート21第15回展・第76回世代美術展・第15回徳島版画展（阿波銀プラザ）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、嵯峨潤三抽象画展（ギャラリーバンサン）、嵯峨潤三木版画展（ギャラリーM&M）
- 佐々木公子 徳島アート21第15回展（阿波銀プラザ）、第2回つくしの会小品アート展（那賀川図書館）、示現会徳島支部交流展（あわぎんホール）、羽ノ浦町公民館フェ

スタ（羽ノ浦町公民館）、第3回つくしの会展（阿南市文化会館）

- 佐藤 敬子 第31回洋画部会員展・第73回青美展（あわぎんホール）、第10回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）
- 篠原佳代子 第42回昭和美術会展（京都市美術館）、第7回昭和美術会展徳島巡回展・第8回徳島女流美術展（あわぎんホール）、第50回京洛ミニチュア展（ギャラリーきむら京都）、第25回篠原佳代子個展（ギャラリー喫茶アンデルセン）
- 四宮 久子 第71回二紀展（国立新美術館）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第32回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、アトリエバク展（桜茶屋ギャラリー）
- 志摩 正照 第93回白日会展（国立新美術館）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、山本吉男・志摩正照二人展（ギャラリー喫茶グレース）、第38回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 島上 二郎 第83回東光展（都美術館）、第74回東光会徳島支部展・第31回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 清水 亟典 第51回清水亟典油絵個展（ギャラリー花杏豆）、第52回清水亟典油絵個展（ギャラリーカフェローズマリーズ）
- 下時治郎秀臣 第93回白日会展・改組第4回日展（国立新美術館）、白日会会員選抜展（大阪近鉄あべのハルカス）、第31回洋画部会員展・現代洋画秀作展（あわぎんホール）、鴨島グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 白草 由子 第31回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 杉本 祥子 第1回AWA現代アート展（御所山王子現代アートスペース）、「絵と木の空間」杉本祥子洋画展（ギャラリーかふら）、第71回女流画家協会（都美術館）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 鈴木 敬子 第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、第39回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 曾我部秀子 第33回全国日曜画家コンクール
- 武田 洋子 第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、三好郡・三好市教職員春風展（たばこ資料館）、阿波・吉野川二市交流展（吉野川文化研修センター）、阿波市文化祭（アエルワ）、阿波絵画クラブ展（阿波図書館）
- 竹原 良亮 第45回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、東富田地区秋季文化祭（東富田コミュニティーセンター）
- 田中シゲミ 第45回徳島市芸術祭美術展招待出品（シビックセンター）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 田中 敏雄 第45回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、第79回一水会展（都美術館）、第14回一水会精鋭展（東京銀座画廊・美術館）
- 田中 康子 第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、国府文化祭（国府コミュニティーセンター）

- 谷 慎也 第49回土曜展（シビックセンター）、第35回平和美術展、第73回青美展（あわぎんホール）
- 玉田 秀子 徳島アート21第15回展（阿波銀プラザ）、第2回つくしの会小品アート展（那賀川図書館）、第3回つくしの会展（阿南市文化会館）
- 為実美恵子 第30回三好市文化まつり（池田総合体育館）
- 露口 敏幸 第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、第76回世代美術展（阿波銀プラザ）
- 手塚てる子 日本美術家連盟四国地区会員展・第8回徳島女流美術展・第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、第1回AWA現代アート展（御所山王子現代アートスペース）、手塚てる子個展（ギャラリー喫茶グレース）、阿波和紙会館賞受賞記念手塚てる子版画展（いんべアートスペース）、アワガミ国際ミニプリント展2017（阿波和紙会館）、第15回徳島版画展（阿波銀プラザ）
- 中辻奈美枝 徳島アート21第15回展（阿波銀プラザ）、第56回阿南市美術展・第46回阿南市文化祭美術展（阿南市文化会館）
- 長尾 弘久 第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、木谷弘・長尾弘久二人展・第15回徳島版画展（阿波銀プラザ）
- 長坂 芳子 第44回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第83回東光展（都美術館）、第74回東光会徳島支部展・第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、第32回藍美展（藍住町福祉センター）
- 仁木 幸子 第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、八万町文化祭（八万町公民館）
- 西 富美 第85回独立展（国立新美術館）、第85回独立大阪展（大阪市立美術館）、第16回埼玉独立展（埼玉県立近代美術館）、第1回独立美術四国絵画研究会（高松市立美術館）、西富美個展（銀座ギャラリーGK）、SCENE2017 武蔵野美術大学OBによるグループ展（東京銀座アートホール）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 西川 周三 徳島アート21第15回展（阿波銀プラザ）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 西川 敬子 第73回関西水彩画展（大阪市立美術館）、徳島アート21第15回展（阿波銀プラザ）、第8回徳島女流美術展（あわぎんホール）
- 西崎 志帆 第1回AWA現代アート展最優秀賞（御所山王子現代アートスペース）、西崎志帆個展（眉峰ギャラリー）
- 二條 均 第35回平和美術展・第31回洋画部会員展・第73回青美展（あわぎんホール）、第28回板野美術クラブ展（板野町文化の館）
- 野上 恵子 第40回八紅展（阿波銀プラザ）、第45回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、個展（森珈琲店）
- 野口 暁子 第40回八紅展（阿波銀プラザ）
- 林 静代 第61回兵庫二紀展（原田の森美術館）、第31回洋画部会員展（あわぎんホール）、アトリエバク5人展（桜茶屋ギャラリー）
- 林 康太郎 第31回洋画部会員展（あわぎんホール）

- 林 信夫 第 31 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 日野 邦恵 第 83 回東光展（都美術館）、第 74 回東光会徳島支部展（あわぎんホール）、前川富子・日野邦恵二人展（徳島メガネ石井店）
- 平木 美鶴 個展（高島屋大阪店ギャラリー NEXT）、第 72 回新潟県美術展覧会版画部門審査員、個展（高島屋横浜店美術画廊）、アワガミ国際ミニプリント展 2017 審査員、第 10 回高知国際版画トリエンナーレ展佳作賞受賞（いの町紙の博物館）、第 6 回 2017 グワンラン国際版画ビエンナーレ展（中国版画博物館）、West Winds IV - 黒崎彰・斎藤修・平木美鶴 -（高島屋大阪店美術画廊）、第 71 回二紀展（国立新美術館）、第 85 回日本版画協会展（都美術館）、第 31 回洋画部会員展・日本美術家連盟四国地区会員展（あわぎんホール）、第 15 回徳島版画展・春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第 32 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）、第 1 回 AWA 現代アート展審査員（御所山王子現代アートスペース）
- 平田スミコ 第 71 回女流画家協会展（都美術館）、独立美術四国絵画研究会展（リーガホテルゼスト高松）、第 73 回青美展（あわぎんホール）、第 4 回響展（阿波銀プラザ）
- 平松 智子 第 31 回洋画部会員展・第 73 回青美展（あわぎんホール）、第 39 回鴨島美術グループ展（吉野川市文化研修センター）
- 福本 恵 第 31 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 71 回二紀展（国立新美術館）、個展（眉峰ギャラリー）、春季徳島二紀展（阿波銀プラザ）、第 32 回徳島二紀展（徳島県立近代美術館ギャラリー）
- 福良 哲子 第 45 回徳島市芸術祭美術展招待出品（シビックセンター）、第 31 回洋画部会員展（あわぎんホール）、第 40 回八紅展（阿波銀プラザ）、加茂谷文化祭（加茂谷公民館）
- 藤井 香世 第 31 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 藤丸 家栄 徳島アート 21 第 15 回展（阿波銀プラザ）
- 前川 富子 第 77 回美術文化展（都美術館）、美術文化徳島支部展・第 10 回徳島絵画美学展（阿波銀プラザ）、水彩連盟展（国立新美術館）、第 31 回洋画部会員展・石井美術の会 49 回展（あわぎんホール）、薬草絵画展（徳島大学薬草園）
- 前川フキ子 第 2 回つくしの会小品展（那賀川町図書館）、示現会徳島交流展（あわぎんホール）、第 3 回つくしの会展（阿南市文化会館）、羽ノ浦公民館フェスタ（羽ノ浦町公民館）
- 前野 亮治 第 31 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 榊田 務 第 31 回洋画部会員展・生きがい展・第 74 回東光会徳島支部展（あわぎんホール）、第 45 回徳島市芸術祭美術展（シビックセンター）
- 松川 寛 第 67 回モダンアート展（都美術館）、モダンアート関西展（奈良県文化会館）、関西モダンアート作家展（ニューオオサカホテル心斎橋）
- 眞鍋たえ子 東富田文化祭（東富田コミュニティーセンター）、第 31 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 眞野 尚枝 第 79 回一水会展（都美術館）、第 31 回洋画部会員展（あわぎんホール）
- 馬淵 博子 第 31 回洋画部会員展（あわぎんホール）、アトリエバクグループ展（桜茶屋ギャ

ラリー)

- 馬淵 尚子 第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、吉野川総合美術展・第39回鴨島美術グループ展(吉野川市文化研修センター)
- 三沢 尚子 第8回徳島女流美術展・第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、第8回尚アート水彩画展(阿波銀プラザ)
- 三谷ミヤ子 第83回東光展(都美術館)、第74回東光会徳島支部展(あわぎんホール)、第15回徳島アート21展(阿波銀プラザ)、第30回全国健康福祉祭(秋田県立美術館)、東富田文化祭(東富田コミュニティーセンター)、第45回徳島市芸術祭美術展招待出品(シビックセンター)
- 峯 幸子 第8回徳島女流美術協会展・第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、第81回新制作協会展(国立新美術館)、同巡回展(原田の森ギャラリー)
- 養手日登美 第67回モダンアート展(都美術館)、第49回モダンアート徳島支部展(阿波銀プラザ)、関西モダンアート作家展(ニューオオサカホテル心斎橋)、第8回徳島女流美術協会展・第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、第1回AWA現代アート展(御所山王子現代アートスペース)
- 三好 初子 第83回東光展(都美術館)、第74回東光会徳島支部展・第8回徳島女流美術協会展(あわぎんホール)、第32回藍美展(藍住町福祉センター)、第45回徳島市芸術祭美術展・第2回絵と郷土史研究の二人三脚展(シビックセンター)、第39回白鳳洋画グループ展(キョーエイ鳴門駅前店)
- 山口美千代 第31回洋画部会員展(あわぎんホール)、三好市文化祭(池田総合会館)
- 結城 栄子 第45回むアート展(阿波銀プラザ)
- 横井嘉世恵 第45回徳島市芸術祭美術展招待出品(シビックセンター)、第31回洋画部会員展(あわぎんホール)
- 米沢 博 第23回徳島県健康福祉大会美術展(あわぎんホール)
- 和田 寿子 第45回徳島市芸術祭美術展(シビックセンター)、第45回絵で見る徳島展・第49回画展ふるさと(あわぎんホール)

写真部

部会長 上野 照文

年間展望

○第25回放美展

第25回放美展は4月29日(土)搬入審査が行われた。今回の審査員は増田 寿、大和健司、岩崎英昭各氏が担当し、応募作品は332点あり、放美賞1点、優秀賞14点、放美展25周年記念賞1点、四国大学賞1点、入選109点を選出し、審査員作品3点と無鑑査作品の9点を合わせて展示した。



第25回放美展 写真部審査風景



第72回県美術展 写真部審査風景

○第72回徳島県美術展

第72回徳島県美術展写真部門は10月1日(日)搬入審査が行われた。審査員に大西みつぐ氏(大阪芸術大学客員教授、日本写真家協会会員)をお願いした。応募点数は714点あり、特選4点うち1点は徳島県知事賞、準特選9点、奨励賞8点、入選106点が選ばれた。無審査作品22点と合わせて、149点の作品を展示し、県展2期の10月13日(金)～18日(水)の期間中に展示した。

○県美協写真部撮影会 6月18日(日)近江八幡市
毎年、写真部恒例の行事として、6月に近江八幡市旧商家の町並みに撮影会を開催した。大型バスをチャーターし41名の会員の参加があった。

尚、お世話いただいた委員は井上憲治・林敏彦・阿部啓三・三木理司各氏



県美協写真部会撮影会集合写真

会員消息

◎第51回日本光画会「光」展(1月7日(土)～10日(火) 徳島市シビックセンター)
出品者: 木田英之・佐藤義雄・林 好一・福井純子

◎第 32 回全日本写真連盟県本部写真展(1月27日(金)～29日(日)徳島市シビックセンター)

出品者：秋田 召旨・秋山 修一・阿部 啓三・井藤 光章・井上 憲治・大津 勝治
岡本 早苗・岸田 義市・佐治 孝・佐藤 義雄・伊達 照子・田村 泰弘
野藤 敏美・野藤みきよ・橋本 圭祐・橋本 勝・林 敏彦・林 好一
板東 泰雄・姫野 博司・廣野美智子・福井 邦博・福井 純子・福田 勉
藤川 光昭・増田 寿・増田 実・水口 義行・森 賢一

◎滝島豊美写真展「島旅」(2月17日(金)～19日(日)徳島市ギャラリーヒラオカ)

◎岩崎英昭写真展「美しい徳島」(3月1日(水)～5日(日)徳島市シビックセンター)

◎光井雅巳写真展「釧路の冬」(3月2日(木)～31日(金)勝浦町このむ)

◎佐治 孝写真展「ポートレート」(3月7日(火)～21日(火)藍住町サルヴドール)

◎第 48 回ナルトピンぼけクラブ写真展(3月10日(金)～12日(日)キョーエイ鳴門駅前店)

出品者：木田 英之・賀川 泰弘・小川 勝・武知 雅・増田 実

◎日本風景写真協会第 11 回徳島支部展(3月24日(火)～26日(日)徳島市シビックセンター)

出品者：岩崎 英昭・板東よしお・吉田 隆之

◎大学開放実践センター写真講座修了展と仲間たち(3月31日(金)～4月3日(月)阿波銀プラザ)

出品者：井上 憲治・上野 照文・大津 勝治・大塚 尚・岡本 早苗・岸田 義市
熊谷美智子・斉藤 幹夫・島 廣幸・滝島 豊美・高橋 一恵・谷 ひづる
西岡まゆみ・平澤 澄子・三谷美津子・山上 堯

◎第 3 回徳島新光会写真展(4月7日(金)～9日(日)徳島市シビックセンター)

出品者：佐藤 義雄・三木 理司・三谷美津子・光井 雅巳

◎第 18 回ニッコールクラブ徳島支部写真展(4月14日(金)～16日(日)徳島市シビックセンター)

出品者：秋田 召旨・井藤 光章・川真田慶治・櫛渕 魏・佐藤 義雄・藤川 光昭
古井 謙吉・堀口 幸男・増田 寿・三木 理司・森 光・森 賢一

◎第 34 回サンカ会写真作品展(4月15日(土)～17日(月)徳島市シビックセンター)

出品者：田中 伸廣・森内 昭男

◎第 17 回 UNIT - D 写真展(5月12日(金)～14日(日)徳島市阿波銀プラザ)

出品者：井上 憲治・上野 照文・多川 静守・野口 佳一・橋本 圭祐・林 敏彦
堀口 幸男・増田 寿

◎石川徹雄写真展「世界の旅写真展」(5月16日(火)～30日(火)石井町徳島メガネ)

◎2017 年阿波踊りポスター写真コンテスト 秋山 修一

◎第 40 回写真同人「炎」作品展(6月2日(金)～6月4日(日)徳島市シビックセンター)

出品者：阿部 啓三・井藤 光章・井上 憲治・大津 勝治・佐治 孝・佐藤 義雄
武林 君子・田村 泰弘・伊達 照子・土橋 成行・野口 佳一・林 敏彦
廣野美智子・堀口 幸男・森 賢一

◎第 23 回ライカクラブ写真展(6月23日(金)～25日(日)徳島市シビックセンター)

出品者：井上 秀人・山田 勝二

◎写真二人展「そうめん物語」(6月24日(土)～7月4日(火)つるぎ町道の駅ゆうゆう館)

出品者：岸田 義市・西岡まゆみ

- ◎2017 日本光画会徳島支部展（6月23日（金）～25日（日）徳島市シビックセンター）
出品者：佐藤 義雄
- ◎第6回フォトクラブ・アイレ写真展（6月30日（金）～7月2日（火）徳島市阿波銀プラザ）
出品者：熊谷美智子・高橋 一恵・滝島 豊美・谷 ひづる・西岡まゆみ
- ◎第102回研展（7月1日（土）～8日（土）東京都美術館）
出品者：佐藤 義雄・谷 嘉明
- ◎山田卓写真展（7月2日（日）～30日（日）阿波市立図書館ロビー）
- ◎第9回二科会徳島支部展（7月14日（金）～18日（火）徳島市シビックセンター）
出品者：秋山 修一・幾田 茂仁・石川 徹雄・梅本 貞範・佐野 和史・谷 嘉明
土橋 成行・鳥居 敬一・富岡佳代子・姫野 博司・平澤 昭世・平澤 澄子
平野 史子・増田 寿・南 敦子・宮前 稔・森内 昭男・森住 博
山口 正明・山下 修司・大和 章人・大和 健司
- ◎第8回木田写真クラブ「組写真」展（7月21日（金）～23日（日）徳島県立美術館ギャラリー）
出品者：木田 英之・林 好一
- ◎剣山・私の一枚〈羅森万象〉写真展（8月2日（水）～20日（日）板野町カフェブリッサ）
出品者：岩崎 英昭・久保 英樹・吉田 隆之
- ◎第57回写楽会写真展（8月4日（金）～6日（日）徳島市立シビックセンター）
出品者：上野 照文・川真田慶治・岸田 義市・櫛渕 紳哉・櫛渕 魏・滝島 豊美
西岡まゆみ・板東 泰雄・古井 謙吉・森 光・山田 卓
- ◎三好和義写真展「印度眩光マハラジャの歳月」（8月21日（月）～9月8日（金）大阪ニコンプラザ）
- ◎第12回写真同人「光」写真展（9月1日（金）～3（日）徳島市シビックセンター）
出品者：遠藤 博敏・田村 泰弘・林 和彦・林 敏彦・林 好一・姫野 博司
廣野美智子・福井 邦博・福井 純子・福田 勉・松浦 孝・水口 義行
山下 助信
- ◎第7回木田英之&写真クラブ合同展（9月8日（金）～10日（日）徳島県立近代美術館ギャラリー）
出品者：賀川 泰廣・岸田 義市・木田 英之・武知 雅・林 好一
- ◎第8回Grupp Foto23 写真展（9月8日（金）～11日（月）阿波銀プラザ）
出品者：上野 博子・上野 照文・大塚 尚・大西 啓子・岸田 義一・熊谷美智子
斉藤 幹夫・高橋 一恵・田中 伸廣・谷 ひづる・西岡まゆみ・山上 堯
吉田 隆之
- ◎佐藤義雄写真展「バルト三国を旅して」（10月1日（日）～31日（火）勝浦町このむ）
- ◎第4回写真倶楽部八丁目写真展（10月14日（土）～11月16日（月）徳島市シビックセンター）
出品者：富岡佳代子・新居 奏・板東 律雄・南 敦子・森内 昭男・山下 修司
- ◎第64回阿波踊り写真コンクール（10月14日（土）～27日（金）徳島市阿波踊り会館）
入賞者：福井 純子・柳本 正・増田 実・富加見美枝・佐藤 義雄・阿部 啓三
- ◎第24回朝日四国写真展（11月5日（日）高知県南国市JA南国にて審査）
入賞者：秋山 修一・橋本 勝・岡本 早苗・井上 憲治・吉村 敏嗣・阿部 啓三
林 好一・大津 勝治・野藤みきよ・姫野 博司・林 敏彦・佐治 孝

井藤 光章

◎第16回キャノンフォトクラブ写真展（11月22日（水）～11月27日（月）徳島市阿波銀
プラザ）

出品者：野口 道子・橋本 勝・板東 泰雄・矢部 弘子

◎木田英之写真展「新花鳥風月」（11月27日（月）～12月1日（金）阿南市よんでんプラザ）

◎ウラジオストック写真紀行（12月1日（金）～1月10日（日）徳島市あかさこ珈琲店）

出品者：石川 徹雄・佐野 和史・宮前 稔・森住 博・山下 修司

◎日本リアリズム写真集団徳島支部「出版記念展」（12月22日（金）～24日（日）ヨンデン
プラザ徳島）

出品者：木田 英之

※会員消息は会員の展覧会等の活動状況を掲載していますが、情報不足で掲載されていない事があります。
会員の皆様の情報を写真部長または写真部委員までお寄せ下さい。

彫 刻 部

部 会 長 松 永 勉

年間展望

◎第 25 回放美展（平成 29 年 5 月 2 日（火）～6 日（水）あわぎんホール）

今回の出品点数は 25 点で昨年より 1 点多かった。素材は多岐にわたり、具象作品と抽象作品は半々であった。受賞した作品は、それぞれ個性豊かで見ごたえのある作品がそろった。

審査評としては、放美賞を受賞した吉田陽子さんの「刻（とき）」は「バランスの取れた確かな構築が光るセラミックの作品の抽象的な形の組み合わせを大事にしており、一つ一つが微妙にずれているところがいい。」と評価された。吉田さんは、粘土を焼成した作品を何回も続けて出品している。今回は組み合わせることで形を大きくし、動きを表現した形が素朴な中にも生命感のある作品に仕上がっていた。造形にセンスを持った作家であるため、今後を期待したい。

優秀賞の小林正則さんの「孤高」に対しては「量感をしっかりととらえながら、やや単純化した全身像になっている。」との評であった。小林さんはずっと具象彫刻を続けている作家で今回は着衣の女性の全身像を出品した。歩く女性の姿が上手にモデリングされた表現であった。

25 周年記念賞を受けた大貝貞雄さんの「芽生え」には「有機的な形が力強い。」との評があった。大貝さんは前回放美賞を受けており、昨年に続く受賞である。U 字型に粘土を積み上げ、それを圧力でつぶしたような形が動きと強さを表現していた。今後の進展を望む。

四国大学賞には岡田みなみさんの「春の訪れ」が選ばれた。石膏で作られた腰掛スタイルの人物像であった。人物をよく観察しバランスのとれた形に仕上がっていた。これからも続けてほしい。

全体評として「今年も高校生たちの新鮮で意欲的な作品が見られた。彫刻は制作の段階でいろいろな制約があり大変だ。じっくり取り組む仕事を大切にしてほしい。」との評であった。

（今回の審査は、松永勉、井下俊作、長岡強が務めた）



第 25 回放美展 彫刻部展示風景

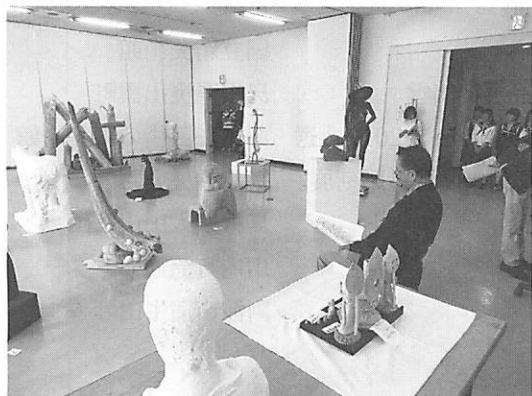
◎第 72 回県美術展（平成 29 年 10 月 6 日（金）～ 10 月 25 日（水）あわぎんホール）

今回は審査員として、筑波大学芸術系教授で彫刻家の國安孝昌先生にお願いした。今年の出作品総数は 25 点であった。そのうち入賞・入選作品には 15 点選ばれた。総数では前回より 3 点増えた。入選・入賞 15 点の作品については、意欲的に立体表現をしようとする個性豊かな大作揃いであった。それぞれ素材を生かした作品でもあった。作品数は少ないとはいえ、展示

においては空間芸術を堪能するだけのスペースが取れ、彫刻の特性を味わうにふさわしい構成になった。

國安先生の審査評としては、「サイズに制限がある中で、いろんな表現に挑戦し、可能性を求めて創作しているのが伝わってきた。評価の基準は“うまい”と“他にない”の二つであり、これら技術的な良さは何にも増して強い武器だ。その人にしかできない仕事を高く評価した。」と述べられた。

特選「県議会議長賞」に選ばれた東光司さんの「刻まれた風景 2017」には、「石の存在感が



第 72 回県展 彫刻部審査風景

際立つ。素材のもつ強さを形として引き出すことに成功した。彫刻の9割は素材で決まるといっても過言ではない。シンプルに素材を生かし切っている。」との評価をいただいた。東さんは長く石彫に取り組んでいる。県内外で石彫を発表し、受賞も多い。このところ、階段状に刻んだ内部空間を見せようとする独自のスタイルに取り組んでいる。長年の研鑽が実を結んだ結果であろう。これからの活動を期待したい。

準特選を受賞した木村大志さんの「森を昇る

夢」に対しては、「ウサギの全体像が完璧に表

現されている。作者の技術は非常に高い。しかし、技巧が目について存在感が薄れてしまった。僅差で準特選とした。」との評価であった。木村さんは県展では何度も受賞している木彫家だ。いつも不思議な動物の表情を見せてくれる。今回の作品も原木をうまく利用し、自然と素材と自分の創作をミックスさせた巧みな表現である。この受賞で木村さんは次回無鑑査出品となるが、次も新鮮な作品を見せてほしい。

同じ準特選に選ばれた吉田陽子さんの「迷走する孤独」については、「焼き物でトルソーをうまく抽象化した。おとなしく静かな印象ながら、技術は確かで、完成度の高い作品だ。」と言われた。陶芸出身の吉田さんは、自分の感性を生かし、このところ彫刻の分野にチャレンジしている。今回も粘土を焼成したトルソー風の不思議な立体作品を出品した。自分の技術と創作の思いが新奇な造形を作り出している

ようだ。

奨励賞には、大貝寿子さんのテラコッタ作品「奇妙な夢」と笠井正彦さんの玉石を組み合わせた「川原の詩」が選ばれた。大貝さんの作品は、群立する棒状の動きが楽しさを感じさせる空間に仕上がっていた。また、笠井さんは久しぶりの県展への出品であったが、以前と違って素朴な表現が新しい境地を感じさせた。二人とも今後の活動に期待したい。



第 72 回県美術展 彫刻部展示風景

全体評としては、「出品作の中には、伝えたいメッセージが複数盛り込まれた作品が目立った。最も伝えたい要素を一つに絞ろう。デッサン力を磨き、新しい目線と問題意識をもって制作に励んでほしい。」と話された。

会員消息 (県展・放美展関係は除く。順不同)

居上 真人	5月	善通寺フラワー&ガーデンフェスタ 2017 に出品	「善通寺五岳の里」市民の集い丘公園
	6月	宮崎国際現代彫刻展	宮崎ブーゲンビリア空港
	9月	第 102 回二科展	国立新美術館
	9月	2017 現代彫刻小品展奥出雲	島根県奥出雲町
	9月	あさごアートコンペティション 2017 入選	あさご芸術の森美術館
	10月～11月	55 周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	11月	とみやま小品彫刻展	島根県太田市富山
	11月	「阿波だぬき」設置	川内町流通センター
	12月	句碑建立	阿波市蒲生田岬
井下 俊作	10月～11月	55 周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
大津 文昭	10月～11月	55 周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
河崎 良行	3月	現代日本彫刻作家展	東京都美術館
	3月	日本美術連盟四国地区会員展	あわぎんホール
	3月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	5月	第 1 回現代造形作家フォーラム展	東京都美術館
	8月	第 32 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	9月	第 4 回花とみどり・いのちと心展	国営昭和記念公園
	9月	第 8 回よんでんふるさと美術展 特別出品	あわぎんホール
	10月	第 71 回二紀展	国立新美術館
鎌田 邦宏	3月	第 9 回とくしま芸術文化賞受賞	
	3月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	3月	第 13 回春季二紀展	東京都美術館
	3月	日本美術連盟四国地区会員展	あわぎんホール
	7月	第 6 回われらの地平線	日本橋三越本店特撰画廊
	8月	第 32 回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー
	9月	2017 現代彫刻小品展奥出雲	島根県奥出雲町
	10月	第 71 回二紀展	国立新美術館

	11 月	とみやま小品彫刻展	島根県太田市富山
	12 月	第 9 回とくしま芸術文化賞受賞記念彫刻展	あわぎんホール
木村 大志	8 月	第 32 回徳島二紀展	県立近代美術館ギャラリー
	10 月	第 71 回二紀展準会員賞	国立新美術館
上月 佳代	2 月	第 45 回徳島市芸術祭美術展	シビックセンター
	3 月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	3 月	第 13 回春季二紀展	東京都美術館
	3 月	日本美術家連盟四国地区会員展	あわぎんホール
	6 月	女子美術大学同窓会設立 100 周年記念第 8 回徳島支部展	アミコシビックセンターギャラリー
	8 月	女子美彫塑出身作家による七人展	銀座アートホール
	8 月	第 32 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	10 月	第 71 回二紀展	国立新美術館
	11 月	7 人展	moi moi gallery
近藤 美暁	3 月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	3 月	第 13 回春季二紀展	東京都美術館
	8 月	第 32 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	10 月	第 71 回二紀展	国立新美術館
佐藤 隆	10 月～11 月	55 周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
武田亜希子	3 月	春季徳島二紀展	阿波銀プラザ
	3 月	第 13 回春季二紀展	東京都美術館
	3 月	日本美術家連盟四国地区会員展	あわぎんホール
	6 月	日本美術家連盟・新会員奨励展 '17	東京美術家連盟会館
	7 月	第 6 回われらの地平線	日本橋三越本店特撰画廊
	8 月	第 32 回徳島二紀展	徳島県立近代美術館
	10 月	第 71 回二紀展	国立新美術館
	11 月	とみやま野外彫刻展	島根県太田市富山
	12 月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
長岡 強	11 月	改組新第 4 回日展 会員審査員として出品 京都・大阪・大分・金沢に巡回展示	国立新美術館
林 一美	2 月	彫刻展示	ホテルサンシャイン徳島アネックス

東 光司	1 月	第 49 回モダンアート徳島支部展	阿波銀プラザ
	3 月	日本美術家連盟四国地区会員展	あわぎんホール
	4 月	第 67 回モダンアート展	東京都美術館
	7 月	奈良展	奈良県立文化会館
	11 月	関西モダンアート作家展	大阪市 NEW OSAKA HOTEL 心斎橋
松永 勉	2 月	第 45 回徳島市芸術祭美術展 特別出品	シビックセンター
	3 月	Sculpture by the Sea , Cottesloe 2017	オーストラリアパース
	3 月	日本美術家連盟四国地区会員展	あわぎんホール
	5 月	70 年の軌跡 全関西行動美術展	大阪市美術館
	9 月	2017 現代彫刻小品展 in 奥出雲	島根県奥出雲町
	9 月	第 72 回行動展 会員出品	国立新美術館
	10 月	第 72 回行動展大阪巡回展	大阪市立美術館
	10 月	メトロポリタンホテルさいたま新都心作品設置	埼玉
	10 月～11 月	55 周年記念徳島彫刻集団野外彫刻展	徳島中央公園
	11 月	とみやま小品彫刻展	島根県太田市富山
	12 月	YEAR-END EXHIBITION OF MINI SCULPTURES	ギャラリーせいほう
横畠 寛	1 月	フリースペース チャレンジとくしま芸術祭	徳島県立近代美術館

美術工芸部

部会長 松下 慶一

年間展望

◎第25回放美展 5月2日(火)～6日(土) あわぎんホール



出品数は前回より17点少ない113点、出品者も13人減の80人であった。ジャンル別では陶磁作品の48点、押し花23点、木竹13点の順に多かった。パッチワークなどの平面作品が半減したのが残念だった。点数は減少したが力作が多かった。

受賞作は次の8点。

放美賞	原田 明實(染色)	Spring Shower
優秀賞	久保 英樹(陶磁)	化粧彩色花器
	武田 潤子(陶磁)	変型線紋壺「希望」
	東條 容子(パッチワーク)	サンセット
	尾藤 芳尚(ガラス)	網羅
	吉野 由紀(押し花)	悠然
放美展25周年記念賞	大内 敏男(陶磁)	布目彩泥大鉢
四国大学賞	坂東 穂南(押し花)	God bless you!

放美賞の原田明實さん「Spring Shower」は、模様が印象的で、藍の色合いも絶妙で奥行きもあり、素晴らしい作品であった。優秀賞の5点の中では久保英樹さんの作品は形・色合い・デザインがユニークで秀作であった。武田潤子さん、東條容子さん、尾藤芳尚さん、吉野由紀さんも意欲的な力作だった。

放美展25周年記念賞の大内敏男さんの作品は大鉢だが、素朴な色合いの中に動きのある模様で布目をうまく生かしていた。四国大学賞の坂東穂南さんの作品は従来の発想にとらわれず将来性が楽しみである。

美術工芸部ギャラリートークが5月3日(水)午前11時から開催され、多くの聴講者があり受賞作品を中心に審査員3名が解説し質問を受けた。

審査員は七條猪三郎(金工)、橘恵(染色)、松下慶一(陶磁)がつとめた。

◎第72回県美術展 第2期 10月13日(金)～18日(水) あわぎんホール

本年県展美術工芸部門の応募作品点数は135点(前回166点)、出品者は97人(前回117人)と、共に昨年をかなり下回ったが、作品の質は向上し内容のある作品が多かった。



今回の審査員は広島市立大学名誉教授・日展会員・現代工芸評議員の若山裕昭先生（金工）にお願いした。若山先生には第69回県美術展の時にも審査をしていただき、2度目の審査だった。

総評では「意欲的な作品が多かった。芸術作品は作り手が甘えを捨ててどこまでこだわれるかが勝負。思い描いた画面構成から、1ミリのずれも許さないといった心構えが欲しい。芸術に駄目なものはない。思い切って表現していこう。」ということであった。

会場で審査後、若山先生の講評を熱心に出品者の方々は聞き、そして質問をされたりしたいへん有意義だった。その後出品者の方々に参加を募り、場所を変えて「審査員の先生を囲む会」をひらき、若山先生からこれからの徳島の美術工芸についても貴重な示唆をいただいた。



受賞作品名は以下の通り。

特 選	(徳島県教育委員会教育長賞)		
	楠 博子 (パッチワーク)	幻想	
特 選	前野 亮治 (織物)	わ	
準特選	久保 英樹 (陶磁)	象嵌泥彩花器	
	前川 政秀 (かずら和紙)	あかり	
	大貝 貞雄 (陶磁)	母性	
	石田 節子 (染色)	霧の中で	
奨励賞	四十宮年代 (染色)	型絵染着物「花園」	
	上田 優 (切り絵)	二本の松	
	泉 良子 (パッチワーク)	夕映え	

最近の県美術展、放美展の傾向として出品数・出品人数が減少傾向にあるので、出品者の皆様のますますの奮起を期待しています。



◎最後となりましたが、美術工芸部委員の矢野款一氏・日本工芸会正会員（陶芸）が「とくしま芸術文化賞」を受けました。大谷焼の先駆者であり長年の功績が高く評価されました。

会員消息 (県展・放美展は除く)

天野 和子	・第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 45 回県手工芸展	11 月	あわぎんホール
大貝 貞雄	・第 45 回徳島市美術展 (招待)	2 月	シビックセンター
	・第 45 回県手工芸展 (招待)	11 月	あわぎんホール
大貝 寿子	・第 45 回徳島市美術展 (招待)	2 月	シビックセンター
	・第 45 回県手工芸展 (賛助出品)	11 月	あわぎんホール
越 由子	・第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・改組新第 4 回日展	11 月	国立新美術館
近藤佐起江	・第 29 回全国手工芸コンクール in ひょうご (兵庫県知事賞)	10 月	兵庫県民会館
近藤美佐子	・第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
斎藤 和彦	・第 51 回日本七宝作家協会展	10 月	東京都美術館
高瀬 裕司	・第 45 回徳島市美術展 (徳島市教育委員会教育長賞)	2 月	シビックセンター
多智花佐代子	・第 56 回日本現代工芸美術展 (本会員出品)	4 月	東京都美術館
	・改組新第 4 回日展	11 月	国立新美術館
田村栄一郎	・そば猪口アート公募展	9 月	安曇野高橋節郎記念美術館
鳥井 明子	・第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
内藤 久子	・第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 45 回県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 2 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
長尾 敏子	・長尾敏子ガラス工芸展	12 月	鳴門駅前キョウエイギャラリー
中川 存	・中川存作品展	12 月	鳴門駅前キョウエイギャラリー
西 浩子	・第 8 回徳島女流美術展	5 月	あわぎんホール
	・女子美術大学同窓会展	6 月	シビックセンター
平井 恵子	・第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・かんじる比良 2017	5 月	比良森の家
	・第 68 回大津市美術展覧会	6 月	大津市歴史博物館
	・第 49 回滋賀県工芸美術協会展	11 月	草津市立草津クレアホール
平尾 静子	・だいやま陶芸村作品展	4 月	技の館
福本美智代	・第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・第 45 回県手工芸展	11 月	あわぎんホール
	・第 2 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
藤井 哲信	・第 56 回日本クラフト展	1 月	東京ミッドタウン・デザインハブ
	・藤井哲信 藍色のガラス展	6 月	ギャラリーバンサン
藤中 教代	・第 45 回徳島市美術展 (徳島市文化協会長賞)	2 月	シビックセンター
松下 慶一	・日本工芸会四国支部陶芸部会展	11 月	松山三越
松下 敏之	・青藍窯 松下敏之作陶展	6 月	ギャラリー M & M

松本 宏	・ 宏磁窯作陶展	6 月	あうん亭
丸居 哲雄	・ ゆるい展	3・4 月	北島創世ホール
	・ 現代クラフト展	9 月	あわぎんホール
	・ エナジー展 2017	10 月	文化の森
	・ 上板町文化祭	11 月	上板町中央公民館
森 賢一	・ 第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・ 改組新第 4 回日展	11 月	国立新美術館
家形笑美子	・ 第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
矢野 款一	・ 日本伝統工芸展正会員展	5 月	日本橋三越
	・ 日本伝統工芸展四国支部展	11 月	高松三越
山本 和子	・ 第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・ 第 29 回全国手工芸コンクール in ひょうご (読売新聞大阪本社賞)	10 月	兵庫県民アートギャラリー
山本 由実	・ 第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・ 布とレースで夏物語 (個展)	7 月	ギャラリー杣人
	・ 第 13 回きものの街のキルト展	9 月	十日町商店街 (新潟)
	・ 第 2 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
	・ 第 6 回パッチワークキルトカーニバル 2017 in Kyoto	11 月	京都市勤業館みやこめッセ
吉田 眞弓	・ 第 6 回パッチワークキルトカーニバル 2017 in Kyoto	11 月	京都市勤業館みやこめッセ
	・ 第 2 回夢のはなパッチワークキルト展	11 月	あわぎんホール
横井嘉世恵	・ 第 45 回徳島市美術展 (招待)	2 月	シビックセンター
	・ 東富田文化祭	9 月	東富田コミュニティーセンター
	・ 宮本薫グループ展 押花・あみ物作品展	10 月	あわぎんプラザ
四十宮年代	・ 第 45 回徳島市美術展 (特別出品)	2 月	シビックセンター
	・ 第 46 回歳末チャリティー作品・色紙即売展	12 月	そごう徳島店
龍木 秀子	・ 第 56 回日本現代工芸美術展	4 月	東京都美術館
	・ 改組新第 4 回日展	11 月	国立新美術館

書 道 部

部 会 長 荒 井 彭 仙

年間展望

◎第 25 回放美展（5 月 2 日（火）～6 日（土）あわぎんホール）

応募数は 221 点、応募人数 181 名（前回 221 点、184 名）であり、出品人数が 3 名減になったものの出品数は昨年と同数であった。

今回は（一般 94 点、学生 121 点）前衛の学生出品数が力となって出品者の過半数を学生が占めることになった。

会期中のギャラリートークには中尾勝子先生・富久鳴泉先生が担当。今回展の傾向、特に仮名についての見所や要点を解説され、繊細で穏和な時間を導かれた。

展示は放美賞 1 点、優秀賞 9 点、放美展 25 周年記念賞 1 点、四国大学賞 1 点、入選 106 点に、無鑑査 1 点、審査員 3 点を合わせて 122 点となった。（四国大学賞：高校生・高専生が対象）

審査員：隅田英二・中尾勝子・日下溪翠

◎第 72 回県美術展（第 3 期 10 月 20 日（金）～25 日（水）あわぎんホール）

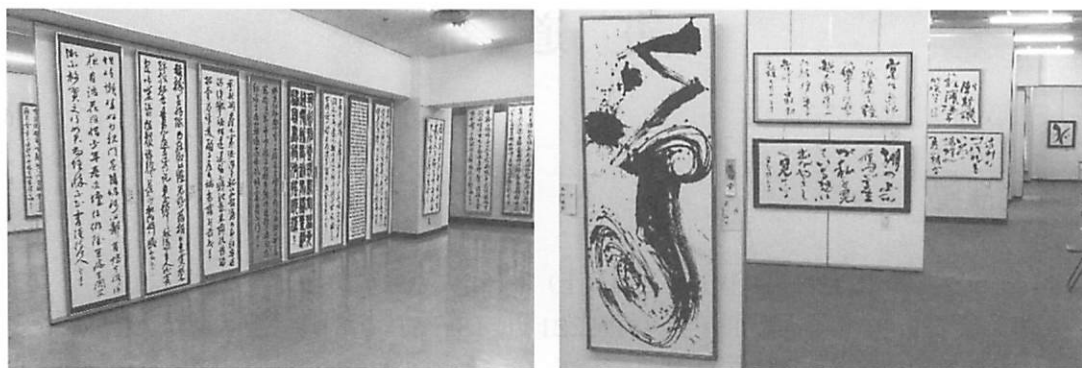
応募数は 794 点、応募人数 470 名（前回 790 点、475 名）であり、4 点増の 5 名減となった。（漢 +7、仮 -15、近 +1、前 +11） 毎回、各部門で微妙な増減を繰り返しながら、今回もやや安定した数値にとどまった。

審査員は新井光風・村上俄山・室井玄聳の三先生であった。



県展審査風景

多流派からの出品が多く、バラエティに富んだ作品群に出会ったといわれ、「中央に引けを取らない熱意とレベルには驚いたねえ。実に優劣をつけ難い。心を鬼にしたり、仏にしたりの審査は心臓に悪いよ・・・」と談笑されていた。審査は時間内にスムーズに進行され、審査過程を楽しまれた様子だった。



県展会場風景

会員の訃報

○平成 29 年 6 月 28 日 長谷 美峰 先生 91 歳 美協書道部常任委員・睦月会会長
お人柄そのままに、優しさと大らかさで「かな書道」に心を寄せられ、ご指導の道を全うされました。

ご冥福をお祈りいたします。

○平成 29 年 12 月 24 日 長原 皋聖 先生 92 歳 美協書道部常任委員・長玄会会長
美意識の高みを追求し続けられた一生であり、師と共に近代詩文の普及に一役を担うなど、書活動において「不易流行」の精神を貫かれました。

ご冥福をお祈りいたします。

○平成 30 年 2 月 20 日 春藤 大耿 先生 90 歳 美協書道部常任委員・元美協副会長
元大耿会会長（耿の会）

多くの役職を経て、晩年には二期にわたり（H23～H26）西南龍氏共に県美協副会長の大事を担われ、没する瞬時まで書三昧。大往生を遂げられました。

ご冥福をお祈りいたします。

◎社中展・個展等

○第41回東玄書道会展	阿波銀プラザ	2月 3日 ～	5日
○第1回由源書心会展	あわぎんホール	2月 3日 ～	5日
○第31回正鋒会書展	あわぎんホール	2月24日 ～	26日
○第8回桂和会書展	阿波銀プラザ	3月 3日 ～	5日
○第37回書研社展	アミコシビックセンター	3月10日 ～	12日
○西南龍遺作展	あわぎんホール	3月24日 ～	26日
○第6回流輝会書展	県立文学書道館	3月24日 ～	26日
○第14回五果会書道展	県立文学書道館	3月31日 ～	4月 2日
○第45回光輪社書作展	あわぎんホール	4月14日 ～	16日
○第11回幽の会書展	アミコシビックセンター	5月12日 ～	14日

○第62回成蹊書道会展	アミコシビックセンター	5月19日	～	21日
○第47回直心会書展	あわぎんホール	5月26日	～	28日
○第24回耿の会書作展	県立文学書道館	6月 9日	～	11日
○第17回東南光書作展	あわぎんホール	7月21日	～	23日
○第44回双暢会書展	あわぎんホール	7月21日	～	23日
○第30回記念長玄書道会展	阿波銀プラザ	7月21日	～	23日
○第6回翔和会かな書作展	アミコシビックセンター	7月28日	～	30日
○第82回書芸院展	あわぎんホール	8月24日	～	27日
○第6回青藍会書作展	あわぎんホール	8月25日	～	27日
○第62回書協人展	あわぎんホール	9月21日	～	23日
○第39回泉心会書作展	県立文学書道館	10月13日	～	15日
○第13回向井京子三世代書展	阿波踊り竹人形時代屋ギャラリー	10月31日	～	11月23日
○第16回一心会書展	阿波銀プラザ	11月10日	～	12日
○第21回せゝらぎ書展	県立文学書道館	11月17日	～	19日
○第23回六書会書展	ヨンデンプラザ徳島	11月17日	～	19日
○第27回謙愼書道会西部展	県立文学書道館	11月22日	～	26日
○第47回芳藍書道展	四国大学交流プラザ	11月24日	～	26日
○第2回由源書心会展	県立文学書道館	12月 1日	～	3日
○第38回臨池書展	アミコシビックセンター	12月 2日	～	3日
○平成29年度高校教員書道展	県立文学書道館	12月 8日	～	10日
○第22回尚真書展	あわぎんホール	12月15日	～	17日

会員消息 (県展・放美展・社中展は除く)

役員で出品した人・入賞者 (平成 29 年 1 月から 12 月) 順不同

○第 58 回太玄会書展 (東京都美術館 1/19 ～ 23)

薫 事 春藤大耿
 理 事 ・ 総 務 中尾勝子
 理 事 ・ 実行委員 富久鳴泉・西谷香峰
 理 事 岡島順子・下村清子・馬居李帆・鈴木恵理・田上洋香・弘田長風

○第 48 回正筆会 菁華書作展 (東京銀座画廊美術館 1/20 ～ 22)

常任総務理事 亀石文苑
 総 務 理 事 竹田和代・加村喜美子

○第 11 回青澄かな書作展 (高松市美術館 2/10 ～ 12)

総 務 理 事 竹田和代
 常 任 理 事 阿部博子・折野佳子・寺尾俊通・井上小百合・杉本裕子・向井境子
 理 事 古谷和代

○第 48 回現代女流書 100 人展（日本橋高島屋 2/16～20）

玉城乾香

○第 53 回創玄展（国立新美術館 3/9～19・東京都美術館 3/9～19）

一 科 審 査 員 荒井彭仙・長原皋聖・玉城乾香・浜 佳香

二 科 審 査 員 永松春苑・多田清芳・岩本志豪

審 査 会 員 吉田和婉・平岡幽琴・丸岡香貞・岸 緑香・朝三皋如・長原皋月
山口幽徑・大西清葩・岡崎啓香・高瀬大峯・佐藤恵和・武田玲香
蓑毛翠琴

秀 逸 玉城乾舞・児玉幸子・仁木志香・居和城幸代

準 二 科 賞 小西真理子

○第 79 回謙愼書道会展（東京都美術館 3/20～27）（池袋サッポロシティ文化会館 3/19～27）

常 任 理 事 米澤東籬

特 選 謙 愼 賞 平田紀芳

秀 逸 井上晏野・近藤椿園・佐野恵水・立石充堂・仁木美磐

褒 状 石川翔芳・竹内靖磐

○第 52 回雪心会展（奈良県文化会館 3/23～26）

雪心新書鑑奨励賞 安友彰子

○日中書道名家作品展（京都市勧業館 3/28～31）

日 本 代 表 東 南光

○第 71 回日本書芸院展（大阪市立美術館 4/11～16、6/27～7/2）（大阪国際会議場 4/19～23）

参 与 東 南光・薄田玲泉・能仁華瑤

評 議 員 亀石文苑・伊丹東龍・辻 紅雲・福家美鵬・上田輝芳

一 科 審 査 会 員 清水桂月・河野真流・宮守崇流・森 光翔・松永翠月・八木藍玉
竹田和代・赤川景舟・井上虹雨・川村春琴・福永美泉・倉本景雨
加村喜美子・浅川蘭舟・四宮千春・稲木裕美

二 科 審 査 会 員 山本景琴・佐野収華・河野多美・佐川菁流・松本景芳・背川景玲
井上景玄・阿部博子・谷 玲琴・戸出芳泉・中西瑤汀・林 美雪
石井祥洸・丸岡春暁・忠津玉燕・田中子葉・後藤佳美・皆谷芳穂
寺尾俊通・高橋芳琴・折野佳子・伊藤景風

史 邑 賞 井上虹雨

大 賞 河野多美・林 美雪・勝浦光漾・背川景玲・山本景琴・井上景玄
高橋芳琴・松本景芳・石井祥洸

特 別 賞 岡部比登美・安友彰子・田村元帥・廣瀬蕙花・鄒 爽韻

準 特 別 賞 大下江波・市原美希

特 選 上野益泉・大野娟鳳・折野幸峰・陶久房泉・佐々京子・田中紫苑

一 科 会 員 推 薦 賞 高柳早秀・板東亜美

○第 41 回國美藝術展（東京都美術館 4/26～5/2）

国際芸術文化褒賞 奥田文園

○第 41 回由源全国書道展（大阪市立美術館 5/30 ～ 6/4）

常 任 無 鑑 査 川村春琴
常 任 委 員 谷 玲琴・丸岡春暁・中村春岳
委 員 土井和翔

○第 6 回寄鶴文社書展（池袋サンシンシティ文化会館 5/30 ～ 6/4）

寄 鶴 文 社 賞 立石充堂
奨 励 賞 近藤椿園

○第 45 回日本の書展（大阪国際会議場 6/2 ～ 4）

招 待 東 南光・能仁華瑤・清水桂月・伊丹東龍・薄田玲泉・河野真流
上田輝芳・宮守崇流・川村春琴・井上虹雨・辻 紅雲
秀 抜 選 武市鳴雲・赤川景舟・倉本景雨・森 光翔・山本景琴・佐川菁流
井上景玄・背川景玲・松本景芳・福家美鵬・戸出芳泉・吉田翠彩
高橋芳琴・廣瀬蕙花・永松春苑・岩本志豪・吉田和婉

○第 35 回日本詩文書協会書展（セントラルミュージアム銀座 6/6 ～ 11）

会 員 玉城乾香・岩本志豪・浜 佳香

○第 6 回礪友会書展（東京銀座画廊美術館 6/7 ～ 11）

選 抜 作 家 米澤東籬

○第 55 回水穂書展（京都市勧業館 6/9 ～ 11）

総 務 東 弥生（遺作）・向井京子
理 事 森崎玉鈴・伊藤景風

○第 69 回朝陽書道会展（岡山県天神山文化プラザ 6/23 ～ 25）

顧 問 薄田玲泉
常 任 総 務 河野真流・上田輝芳・井上虹雨・宮守崇流
常 任 理 事 赤川景舟・倉本景雨・佐川菁流・森 光翔・山本景琴・井上景玄
背川景玲・松本景芳・皆谷芳穂

○第 31 回玄心書道展（兵庫県原田の森ギャラリー 6/29 ～ 7/2）

副 理 事 長 伊丹東龍
常 任 総 務 辻 紅雲
総 務 理 事 吉田翠彩・福家美鵬
参 与 浅川蘭舟
常 務 理 事 勝浦光漾・田中子葉・忠津玉燕・田村元帥
理 事 小林青藤・吉岡春鵬

○第 57 回墨滴会全国書道展（大阪市立美術館 7/4 ～ 9）

理 事 戸出芳泉

○第 69 回毎日展（国立新美術館 7/12 ～ 8/6）（愛媛県立美術館 8/23 ～ 27）

審 査 会 員 荒井彭仙・玉城乾香
会 員 永松春苑・浜 佳香・多田清芳・岩本志豪・吉田和婉・平岡幽琴
長原皋月・蓑毛翠琴・高瀬大峯

- 佳 作 幸田清尚・佐藤恵和・玉城乾舞
- 第3回浪華女流書展（東京銀座鳩居堂 8/15～20）
川村春琴
- 第34回読売書法展（国立新美術館 8/25～9/3）（サンメッセ香川 11/10～12）
- 参 与 清水桂月
- 理 事 東 南光・東 弥生（遺作）・能仁華瑤・薄田玲泉・河野真流
伊丹東龍・上田輝芳・亀石文苑・宮守崇流・辻 紅雲・林 美雪
古川秀蕙・川村春琴・米澤東籬・井上虹雨・河野多美・竹田和代
- 幹 事 倉本景雨・佐川菁流・山本景琴・井上景玄・背川景玲・松永翠月
佐野収華・青木東原・福家美鵬・森 光翔・松本景芳・吉田翠彩
福永美泉・赤川景舟・皆谷芳穂・加村喜美子・勝浦光漾・河野美鶴
四宮千春・廣瀬蕙花
- 評 議 員 内田麻紀・高柳早秀・阿部博子・杉本裕子・淺川蘭舟・高橋芳琴
岡部比登美・鈴木恵理・石井祥洸・忠津玉燕・田中子葉・馬居李帆
向井境子・井上小百合
- 読 売 俊 英 賞 福永美泉・福家美鵬
- 読 売 奨 励 賞 岡部比登美・田中子葉・高橋芳琴
- 特 選 田村元帥・八木藍玉・住友春陽
- 秀 逸 丸岡春暁・籾 爽韻・高木美賀子・杉本香苑・恵美春陽・後藤佳美
立石充堂・仁木美馨・新納玉鳳・寺尾俊通
- 第43回創玄現代書展（セントラルミュージアム銀座 10/31～11/5）
- 入 選 小野宙成・岸 緑香・玉城乾舞
- 改組新第4回日展（国立新美術館 11/3～12/10）
- 入 選 亀石文苑・田村元帥・竹田和代・森 光翔・向井京子・米澤東籬
井上虹雨・河野真流・吉田和婉
- 第39回日本書道学院展（11/10～11/16）
- 常 任 理 事 薄田玲泉・河野真流
- 理 事 赤川景舟・井上景玄・井上虹雨・上田輝芳・倉本景雨・佐川菁流
住友春陽・背川景玲・高橋芳琴・一ツ松真弓・廣瀬蕙花・宮守崇流
森 光翔・山本景琴
- 大 賞 松本景芳
- 第33回国際蘭亭筆会書法展（馬來西亞 吉隆坡 11/17～22）
- 国際蘭亭筆会副会長 東 南光
- 日本蘭亭筆会理事長 東 南光
- 2017「巳歳の会」書展（東京銀座画廊美術館 11/21～26）
東 南光
- 第57回環社展（大阪市立美術館 12/5～12/10）
- 顧 問 春藤大耿・清水桂月

参 事	東 南光
参 与	武市鳴雲・豊浦春光・花本清香・馬居李帆
常 任 理 事	能仁華瑤・八木藍玉・松永翠月・横田典子・林 美雪・河野多美 鈴木恵理
理 事	田上洋香・野口有香・弘田長風・大本華越・岡部比登美・佐野収華 恵美春陽・高柳早秀・片山芳明
幹 事	上田美智・谷本真由美・井上加芳・稲井華風・磯川味佳・伊達静蘭 中西瑤汀・北村清翠
常任理事推薦賞	佐野収華
幹 事 推 薦 賞	島 祥瑤
優 秀 賞	高橋信華・田中紫苑
大阪市教育委員会賞	瀬山花郷
特 選	板東一男・柏尾美峰・多田彩峰

○第 69 回正筆展（兵庫県原田の森ギャラリー 12/8～9）

常 任 理 事	内田麻紀・糺真理子・高木美賀子・脇坂 優・笠原三雨・菖蒲和風
理 事	有持恵美子・和泉和舟・田岡佐記子・畠山政子・三宅葉子 藤井三樹子・山橋不二子・今津英子・日下壽美子・坂本恵美 林 桂翠

正 筆 準 大 賞	和泉和舟
正 筆 賞	三宅葉子
梅 花 賞	土佐朱美・平尾卓美

○第 17 回扶桑印社展（セントラルミュージアム銀座 12/12～17）

準 同 人	養毛翠琴
-------	------

○第 19 回三省会書展（奈良県文化会館 12/22～24）

璞 社 参 事	東 南光
---------	------

※各社中からの報告を受けて掲載しています。

個人（県内社中に無所属）の方で報告がある場合は掲載内容を 12 月末に部会長まで御寄稿下さい
(書道部)

デザイン部

部会長 田 中 一 郎

年間展望

◎第 25 回放美展（5 月 2 日（火）～6 日（土）あわぎんホール）

15 の高校から 94 点、1 大学から 11 点、そして、一般の方から 17 点の合計 122 点の出品があり昨年とほぼ同数となった。

審査には、美協デザイン部会員の敷島のり子、吉本 實、北島豊嗣の 3 名があたった。

放美賞の田中綾乃「Another dimension」は、迫力あるデフォルメで異世界の怪物を描き、画面構成のバランスの良さも高評価。優秀賞の村田佳奈子「Am I cute?」はグロテスクな雰囲気、紫の色合い



熱気のこもった審査風景

が調和。田中見那美「Fantastic dream」はビーズやラメなど素材の使い方にセンスが光る。高田愛侑「ON&OFF」は画力のあるイラストが秀逸。森 風斗「娯楽には負けないニャ!」は擬人化された猫たちの活躍に自己の思いを託す。田村あい（部会員）「ケセラセラ」は整理されたシンプルな形、線、色彩でまったりとした世界を演出。25 周年記念賞の南絵里佳「緑のプレゼント」は動植物を花束に仕立てた発想が評価された。四国大学賞の長濱綾花「ラブラブラビッツ!」はメルヘンとリアルが融合した世界観が評価された。その他に部会員の山野井宏宗、



ギャラリートーク

天羽宏美、田村あいが入選 41 点の中に選ばれ、審査員の作品 3 点と合わせて計 52 点が展示された。昨年から会期中に行われているギャラリートークだが、今回もデザイン部門では 5 月 5 日（金）の表彰式の後、審査員を代表して敷島のり子が担当した。デザイン部門の展示コーナーにおいて、主に入賞作品を前に作者とのディスカッションが行われ、約 20 名の出品者、観覧者の参加を得て、盛会裏に終了した。

◎第 72 回徳島県美術展（第 2 期 10 月 12 日（木）～17 日（火）あわぎんホール）

10 月 1 日（日）9:30 より 12:00 まで出品を受け付けた。出品人数 42 人、出品点数 57 点。同日 13:00 よりの審査には、日本グラフィックデザイナー協会（JAGDA）会員で、大阪芸術大学デザイン学科教授の杉崎真之介氏をお迎えし、特選 2 点、準特選 3 点、奨励賞 3 点、入選 26 点の計 34 点を選出していただいた。

特選（徳島新聞社長賞）に選ばれた沢口 功（部会員）「Face」はメッセージを一瞬で伝えるというポスターに求められることを線、色、文字で総合的かつ簡潔にあらわしており、作者の構成力や多様性、そして時代を超えた良さが評価された。特選の半田成葉「FISH FESTIVAL」はキャラクターイラストレーションを若い感性で表現し、たくさんの魚と文字、パターンが一体となった構成が目を引き、色使いにも独特な世界観がある点が評価された。準特選の田中見那美「tropical」は表情とポーズ、スカートの動きで人生の楽しさをしっかりと伝えている。斎藤志津子（部会員）「手をつなごう」は不思議な作品。クールな背景の余白が効いており、見る人にテーマを考えさせる。佐藤あすか「旅」は太陽と鳥の白い色など、全体の構成、表現の水準が高い点が評価された。その他、部会員の田村あい、山野井宏宗、沢口 功が入選に選ばれた。

杉崎審査員からは「全体を通してレベルが高かった。選ばれた作品は其中でも表現、メッセージ、印象、背景が多様で、デザインの多面性や魅力を感じた。」との感想をいただいた。

入賞、入選に加え、特別出品の福井 章、田中一郎、招待の斎藤繁次、坂野美恵子、敷島のり子、斎藤 剛、四十宮隆志の7点を併せて計41点が展示された。



緊張感漂う審査風景

会員消息（県美術展・放美展は除く）

■斎藤繁次

11月 藍美展出品（藍住町福祉センター）

■斎藤志津子

11月 藍美展出品（藍住町福祉センター）

■坂野美恵子

7月 第102回 二科展デザイン部門審査員（東京・国立新美術館）

10月 四国大学 藍染コンテスト 審査員

■沢口 功

2月 第45回徳島市芸術祭美術展 デザイン部門 審査員出品
（徳島市シビックセンター3階ギャラリー）

12月 第46回歳末チャリティ作品・色紙即売展 出品
〔徳島新聞社会文化事業団〕（そごう徳島店）

■敷島のり子

4月 野外ポスター展（はなはるフェスタ）企画開催 / 出品
〔ポスターギャラリー実行委員会〕（新町橋東公園）

■田中一郎

3月 第25回城東高校定期演奏会 ポスター、チラシ、チケット、プログラム表紙、看板のデザイン制作

■西林良枝

- 2月 第45回徳島市芸術祭美術展デザイン部門 特別出品
(徳島市シビックセンター3階ギャラリー)

■福井 章

- 「徳島賛画」をテーマに、ふるさと徳島を描く作業を続けています。
7月 徳島調停協会連合会会報にイラストレーション「徳島の札所」を連載。
12月 創立50周年記念誌「徳島ペンクラブ選集 PART35」の表紙絵担当

■三木由佳里

- 2月 第45回徳島市芸術祭美術展デザイン部門・B1ポスター招待出品
(徳島市シビックセンター3階ギャラリー)

■山野井宏宗

- 9月 第102回 二科展デザイン部門入選(東京・国立新美術館)
10月 AWA 現代アート展 2017 入選

■吉本 寛

- 2月 第45回徳島市芸術祭 美術展 デザイン部門・B1ポスター特別出品
(徳島市シビックセンター3階ギャラリー)
3月 徳島県観光政策事業 優良運転手認定制度
「徳島県おもてなしタクシー認定制度」ロゴマークデザイン制作
5月 徳島県花基金事業「とくしま花のある風景フォトコンテスト」企画周知
アートディレクション・デザイン制作
10月 徳島県フラワーツーリズム推進事業 2018年版「とくしま花へんろポスターカレンダー」
アートディレクション・デザイン制作

■四十宮隆志

- 2月 「徳島県おもてなしタクシーロゴマーク」JAGDA 徳島地区内でコンペ出品
6月 「ラハティ国際ポスタートリエナーレ」(フィンランド)ポスター2点入選
オープニングセレモニー & レセプション参加
6月 「JAGDA 日本グラフィックデザイナー協会通常総会」
会議、授賞式、交流パーティー参加(東京・国立科学博物館 & 東京芸術大学)
10月 「台湾国際グラフィックデザインアワード」ポスター1点入選
福田繁雄設計美術館・展覧会視察
10月 「屋外広告セミナー」JAGDA 徳島地区代表幹事として講演
(阿波おどり会館・第1活動室)
11月 「JAGDA 日本グラフィックデザイナー協会 中四国大会 in 鳥取」
講演・討論会パネラー参加・懇親会参加
(米子市文化ホール & 皆生シーサイドホテル)
11月 「上海アジア国際グラフィックデザインビエンナーレ」ポスター3点入選
上海図書館展示ホール・展覧会視察 オープニングセレモニー & 講演会参加
その他、イタリア、スロバキア、ロシア、イラン、アメリカ、ポーランドなど国際グラフィックデザインのコンペにポスター出品・入選

徳島県美術家協会規約

昭和 23. 9. 12 規約制定	昭和 58. 6. 5 規約一部改正
32. 7. 14 新規約制定	61. 6. 21 "
33. 4. 29 規約一部改正	平成 4. 6. 27 "
42. 4. 23 "	6. 6. 25 "
46. 4. 29 "	10. 6. 27 "
47. 5. 29 "	24. 6. 9 "
49. 8. 22 "	25. 6. 1 "
52. 7. 23 "	26. 6. 1 "
56. 5. 5 "	28. 6. 4 "

第1章 総 則

- 第1条 本会は徳島県美術家協会と称する。
- 第2条 本会は県内美術家の連絡を緊密にし県美術の育成発展をはかり美術を通じて県文化の向上につとめることを目的とする。
- 第3条 本会は徳島県に關係のある美術家をもって組織する。会員は次のいずれかの部に属する。
- ①日本画 ②洋画 ③写真 ④彫刻
⑤美術工芸 ⑥書道 ⑦デザイン
- 第4条 本会は目的を達成するために次の事業を行う。
- (イ) 展覧会 (ロ) 講習会 (ハ) 講演会
(ニ) 観光美術の振興 (ホ) その他必要な事業

第2章 役員および会員

- 第5条 本会に次の役員をおく。
- 会 長 副会長（2名） 事務局長
理 事（若干名） 監 事（2名）
- 会長、副会長、監事は総会で選出する。理事は各部会から5名以内推せんする。役員の任期は2年として留任をさまたげない。
- 会長・副会長の総会での選出方法は、各部で代議員の中から2名の選考委員を選び、予め候補を選考した後、総会で選出する。
- 第6条 本会は顧問、参与および名誉会員を理事会の推せんによりおくことができる。
- 第7条 会長は会務を総理する。副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。事務局長はこの会の事務業務を統括する。監事はこの会の経理を監査する。
- 第8条 総会は毎年1回以上会長の招集により開き会計会務の報告、役員の選出、規約の改廃、その他重要事項の審議を行う。
- 総会は各部から選出した代議員によって構成し、出席代議員の過半数をもって議決する。代議員は30名以内の会員の部にあっては3名、31名以上の部にあっては、さらに10名毎に1名選出できる。
- 第9条 理事会及び部会長会は必要に応じ会長が招集し総会の決議による会務および緊急事項を執行する。事務局長は必要に応じ事務局長を招集し、事務分担を行う。

第3章 部 会

- 第10条 各部に次の役員をおく。
- 部会長・委員（部会員数の3割以内とするが、部の事情によってはこの限りではない）
部監事（2名）
事務局員（2名）
- 役員は部総会で選出する。役員の任期は2年とし留任をさまたげない。
- 第11条 部総会は毎年1回以上部会長の招集により開き、会計会務の報告、役員の選出その他重要事項の審議を行う。
- ただし、部の事情により、部委員会をもって総会にかえることができるものとする。
- 第12条 委員会は必要に応じ部会長が招集し部会務を執行する。
- 第13条 部会の決定事項中、各種事業を協会の名において行うときは、理事会の承認を必要とする。
- 第14条 各部の経費は部会1人当たり、1,750円とし、その他事業収益、寄付金をもってあてる。

第4章 経 費

- 第15条 本会の経費は会費、入会金、事業収益、寄付金その他をもってあてる。
- 第16条 会費は年額3,500円とし、入会金は1,000円とする。
- 第17条 会計年度は毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

内 規

- 1（監事）
監事は、基本的に規約第3条の順に従って、2部会が役員の任期期間をつとめる。
- 2（総会の議長）
総会の議長は、規約第3条の順に毎回持ち回りでつとめる。

（参 考）

- ☆昭和23年9月12日 設立総会及び発会式を徳島市役所3階議事場で行う。事務所を徳島新聞社内に置く。
- ☆昭和24年5月3日 事務所を憲法記念館（徳島公園内の県立図書館）内へ移す。
- ☆昭和25年12月18日 協会バッチを選定（図案は鬼塚副会長）
- ☆昭和33年4月29日 今迄常任委員で運営していた協会の組織を部制を設けて、各部会長及び各部委員を選出する。協会運営は各部から選出された理事（3名～5名）によることとする。
- ☆昭和46年4月29日 6部（日本画・洋画・写真・彫刻・美術工芸・書道）のうえに商業美術（58年度からデザインに改称）が加わり7部組織となる。
- ☆平成23年6月1日 事務局を事務局長の住所に置く。

後援承認事務取扱規定

(趣 旨)

第1条 この規定は、徳島県美術家協会（以下「協会」という。）以外の団体が自主的、自発的活動として行う教育、文化及び美術等の各種行事に対して、協会が後援又は共催若しくは推奨（以下「後援等」という。）をする場合の承認事務の取り扱いについて、必要な事項を定めるものとする。

(用語の定義)

第2条 この規定においての後援とは、協会以外の団体が計画した行事に、協会が当該行事の奨励及び助長をすることをいう。

(基本的な留意事項)

第3条 協会が美術展等を承認する場合は、次の事項に留意しなければならない。

- (1) 「後援等を承認する」ということは「協会の名義使用を認める」ということであり、それだけに他に及ぼす影響等を十分考慮し、過誤のないようにすること。
- (2) 安易に後援等を承認すると、一般市民の誤解を招き協会の信用をそこなうこととなるので、慎重に取り扱うこと。

(行事の主催者)

第4条 協会が後援等を承認する場合の主催者は、次の各号の一に該当するものでなければならない。

- (1) 教育、文化など協会の7部門に関係した機関及び団体。
- (2) 国又は地方公共団体及びそれらの機関。
- (3) 教育、文化機関及び美術研究団体。
- (4) 公益法人（宗教法人を除く。）及びこれに準ずる公共的団体。
- (5) その他、協会が特に認めたもの。

(承認の基準)

第5条 協会が後援等を承認する場合の行事内容は、「教育、文化及び美術等の普及向上に寄与するもので、公益性のあるもの。」でなければならない。ただし、次の各号の一に該当するものは後援等の承認をしないものとする。

- (1) 政治的、宗教的中立性を侵すおそれのあるもの。
- (2) 特定の流派等で、協会の後援に適さないもの。
- (3) 営利又は売名（個人、団体を問わない。）の意図をもって企画されているもの。
- (4) 行事の企画、運営等が適切でないと認められるもの。

- (5) その他、協会が後援等をすることを不適当と認めるもの。

(後援等の申請)

第6条 行事の主催者は、協会に後援等の承認を得ようとするときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書（様式第1号）を原則として30日前までに提出しなければならない。

- 2 前項の申請書には、行事計画及び行事内容の記載を必要とする。また、その内容によっては、協会が必要書類の提出を求めることがある。

(承認決定の通知)

第7条 協会は、後援等を承認決定したときは、徳島県美術家協会後援名義使用承認通知書（様式第2号）により申請者（主催者）に通知するものとする。

(後援等の取消し)

第8条 協会は、後援等を承認決定した後において、当該行事が次の各号の一に該当したときは、後援等を取り消すものとする。

- (1) この規定の第5条の規定に接触することとなったとき。
- (2) 後援等申請書が虚偽の申請であったとき。
- (3) 承認決定の条件に違反し、協会の指示に従わなかったとき。

附 則

- 1 この規定は、平成24年6月9日から施行する。

徳島県美術家協会後援名義使用承認申請書

平成 年 月 日

徳島県美術家協会会長 様

申請者（主催者）

住 所 _____

団 体 名 _____

代表者名 _____ 印

電話番号 _____ - _____ - _____

次の行事について徳島県美術家協会の後援名義使用承諾を得たいので関係書類を添えて申請します。

新規 ・ 継続（該当に○印をつけてください）

行 事 名	
開催日時（期間）	平成 年 月 日（ ）～平成 年 月 日（ ）
開 催 場 所 名	
開催場所所在地	
共 催 団 体 名	
他の後援団体名	
入 場 料	有（詳細を記入： _____） ・ 無
後援承認通知書 送付先住所氏名	〒 _____ 氏名
行 事 概 要 （行事計画及び行事内容などを記載してください）	

注 1） 共催団体名、他の後援団体名は予定のものも含めて記載してください

様式第 1 号

あ と が き

会員の皆様を始め、関係者皆様のご尽力、ご協力のおかげで、春の第25回放美展、秋の第72回徳島県美術展も盛会に無事終わりました。心より感謝申し上げます。

今年度の美術年報の装丁は、美術工芸部・橘 恵さんにお願ひし、素晴らしいものとなりました。

昨年度より、徳島県美術家協会ホームページが開設されています。会員の皆様の利便性も向上し、広く発信されていることと思います。たくさんのアクセスをお待ちしています。まだまだ始めたばかりで不備もあろうかと思ひますので、お気づきのことなどは事務局までお申し出ください。ホームページのアドレスは次のとおりです。

<https://toku-bikyo.info/>

本年度から、彫刻部が事務局を担当させていただいております。不慣れで行き届かない点もあろうかと思ひますが、皆様のご協力よろしくお願ひいたします。

最後になりましたが、これからも皆様の創作活動が人々に感動を与え、徳島県全体の美術界のますますの充実と発展に繋がりますことを心より祈念いたします。

徳島県美術家協会事務局
事務局長 松永 勉

美術年報 2018

平成 30 年 3 月 30 日 印刷

平成 30 年 3 月 31 日 発行

編集者 松 永 勉

装幀者 橘 恵

発行人 河 崎 良 行

印 刷 星印刷株式会社

発行所 徳島県美術家協会

徳島市上助任町三本松 366-13 松永方

